

文 献 目 録

文献調査委員会

注：○掲載順序：雑誌名・巻号・発行年月・論文名・ページ数・著者
○目録欄に登録の雑誌はすべて土木学会土木図書館備付図書である。

土木施工 13—14 72—12

- 1 新豊根ダムの施工 (15-22) 福田・西田
- 2 新豊根発電所導水路トンネルの施工—超高压大口径水路トンネル (23-28) 福田・渡辺
- 3 木曾三川橋下部工の施工—橋脚躯体ばりの計画と施工— (29-38) 持永・細野・石井・浜田
- 4 恵那山トンネルの施工 (その 11) —恵那山トンネルの換気計画— (39-49) 中道文基
- 土木技術 27—12 72—12
- 5 浦戸大橋の振動実験 (24-32) 御子柴・野尻
- 6 PCストランドを使用した急速施工用ロックボルト (33-45) 山田・内藤
- 7 沈埋トンネル設計に関する一考察 (2) —鋼殻の設計について— (46-51) 横山・持丸
- 8 アンボンド軽量PC部材に関する研究 (53-61) 小池・黒川
- 9 Sturm Sequence Method による大型行列の固有値計算 (62-68) 吉塚純治
- 10 地下鉄千代田線日比谷～代々木間の建設工事 (77-88) 渡辺時男

土木技術 28—1 73—1

- 11 吸川放水路計画 (24-33) 岩手県河川課
- 12 沈埋トンネル設計に関する一考察 (3) —鋼殻の設計について (続)— (34-44) 横山・持丸
- 13 第二次系産業廃棄物シリカダストの利用研究—シリカダスト石灰系オートクレーブ硬化体— (46-48) 原・村田
- 14 奥多々良木揚水発電所の建設工事 (54-66) 横田 潤
- 15 葦貝高架橋の設計並びに施工—盛土 (高築堤) にかえて高架橋を新設— (77-85) 川田 勇

土木建設 21—8 72—8

- 16 岩殿山地すべりの調査と対策 (9-15) 松岡国太郎
- 17 アースダムセンターコア—透水防止工 (16-21) 高柳正人
- 18 山岳高速道路の設計と施工 (26-29) 中野達雄
- 19 技術予測と研究開発の必要 (38-41) 高橋敦夫

土木建設 21—9 72—9

- 20 建設業に対する二、三の私見 (8-11) 藤井松太郎
- 21 地域開発の過去と現在 (12-16) 播磨荘一郎
- 22 把音式地盤探査装置の開発 (27-32) 室町・三沢
- 23 近接施工に安全確実な KFF 工法 (17-21) 京牟礼和夫

土木建設 21—10 72—10

- 24 当面する水の課題をどうするか I 治水上のエコロジー (13-21) 高橋・望月・佐藤・岩松
- 25 ヨーロッパの都市下水道 (24-30) 土屋一雄
- 26 土木工学について考える (32-33) 三池亮次
- 27 緑と水—環境問題に関連して— (33-35) 山本 宏
- 28 赤外線写真と赤外線映像 (35-36) 松野久也
- 29 L.N.G. タンカーバース工事 (37-43) 新沼健治

土木建設 21—11 72—11

- 30 広域下水道システムの計画と制御 (11-16) 内藤正明
- 31 ルール河の水総合管理 欧州下水道視察報告 (17-22) 茂庭竹生

土木建設 21—12 72—12

- 32 長大杭について (9-18) 河野 要
- 33 国鉄の路盤構築標準の推移について (19-24) 室町忠彦
- 34 沈埋トンネル工事における砕石海底敷設装置—洞海湾海底トンネルで施工— (32-38) 田中・中井

建設の機械化 273 72—11

- 35 建設機械の周辺問題 (2-5) 清水四郎
- 36 大阪湾岸道路の計画概要 (6-11) 南部・栗本
- 37 東北道宇都宮～仙台間の工事概要とその現況 (12-16) 北村照喜
- 38 浜名バイパスの工事概要 (17-20) 今村浩三
- 39 黒之瀬戸大橋の工事計画 (21-26) 姫野紘宇
- 40 ブラインド式シールド工法の概要と施工例 (27-33) 齋藤・内藤・藤原

土木技術資料 14—10 72—10

- 41 耐酸性鋼材の大気曝露試験 (11-17) 国広・井上・福田
- 42 河川の粗度係数推定法—河床材料を中心にして— (18-24, 38) 馬場洋二
- 43 タンクモデル法による洪水流出解析の手引き (25-31) 前山利雄
- 44 弾性波探査法によるトンネルのゆるみの調査 (32-38) 菅原・武井・佐藤

コンストラクション 10—10 72—10

- 45 中央道恵那山トンネルの換気計画と堅坑 (1-13) 中道文基
- 46 大断面山岳トンネルの施工 <中国高速道路米谷トンネル> (14-22) 山内富貴雄
- 47 ウォータージェット工法による岩石掘削 (23-28) 星野謙三
- 48 地下連続壁工法の現状と施工上の問題点 (29-33) 鈴木 稔
- 49 無人潜函沈下施工機械について (34-41) 小竹秀雄

コンストラクション 10—11 72—11

- 50 基礎工の選定 (1-11) 森重竜馬
- 51 コンピュータによるくい基礎の設計 (上) (12-18) 大植英亮
- 52 テーパー管を用いた組合わせ鋼管くいの設計と施工 (19-31) 末平・阿曾
- 53 高速横羽道路工事の各種基礎形式選定の考え方 (32-40) 吉島・光石

- 54 一般国道6号線大利根橋のニューマチックケーソンの設計 <ニューマチックケーソン選定の考え方とその設計> (41-52) 広川・青島

- 55 軟弱地盤における連続地中壁の設計と施工 <国鉄と横浜市地下鉄との立体交差工事> (53-63) 溝畑・中条

- 56 新しい橋梁基礎—鋼管矢板井筒工法— (64-72) 嶋・石渡
- 57 土木技術者の素養としての地質学 (73-78) 高橋彦治
- 58 現場技術者のための薬液注入工法 (79-83) 島田・兼松
- 59 建設機械の潤滑油管理 <その2 適油選定の行ない方> (84-88) 彦坂祥三

土と基礎 20—10 72—10

- 60 第7回土質工学研究発表会講演要旨および一般報告 (3-51)
- 61 中国地方の地質概説 (61-68) 梅垣嘉治

農業土木学会誌 40—11 72—11

- 62 むつ小川原開発と農業水利 (5-11) 山下・米塚
- 63 八郎潟干拓地の土壌水分特性について (12-18) 太田文夫
- 64 赤川の送泥客土試験工事 (その1) —計画と設計— (19-24) 岸上・上田・竹丸・谷畑

操作性、信頼性の高いデータレコーダを豊富に揃えてあります

共和のデータコーダは、マイクロオードの技術、ひずみ測定器づくりの技術と精密な工作技術を生かし、またどのような使用条件でも最高の性能を発揮するように徹底した信頼性試験を行なって設計製作されています。

共和のデータコーダは、高精度電子サーボ機構によるSN比50dB以上、周波数特性、DC-10KHz、非直線性0.5%、小型軽量、テープ速度は駆動中でもワンタッチ切換できる、プラグインヘッド、サーボモータ、位相、振幅平坦切換のフィルタなど性能、操作性ともすぐれたに電算機でのデータ処理に抜群の性能を発揮します。

共和のデータコーダは超小型、車載型、高性能携帯型、多チャンネル型、長時間型からデータ集録用の装置まで各種製作して、あらゆるご要求に満足するよう準備をしています。

●高性能携帯型 RTP-100型

携帯型としては性能、機能とも抜群

8チャンネル、5速(IRIG規格)

●車載型 RTP-208型

寸法・重量は世界最小、耐ヨーイング性は抜群

8チャンネル、4速(IRIG規格)

●多チャンネル型 RTP-110型

1/2インチテープで、15チャンネル記録できる

テープ速度 5速(IRIG規格)

●記録専用器 RTP-115型

RTP-110の記録専用器

小型、軽量、現場、車載でより効果的

●長時間用 RTP-300型

地震計測、船舶自動計測などに最適

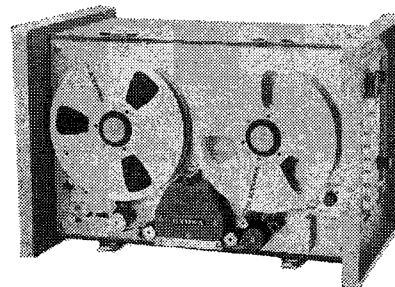
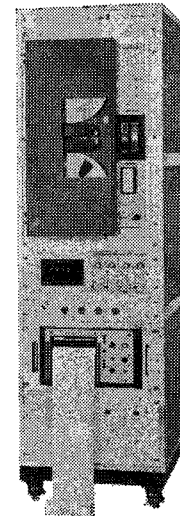
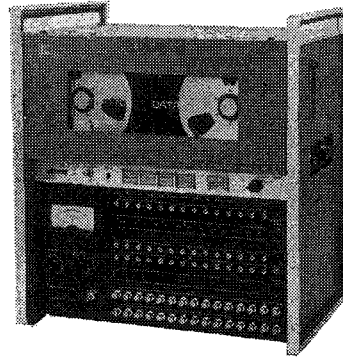
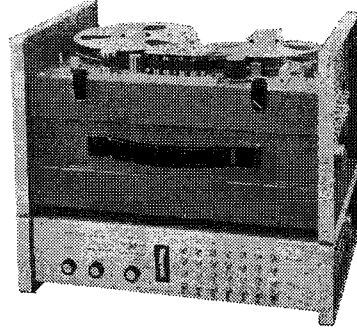
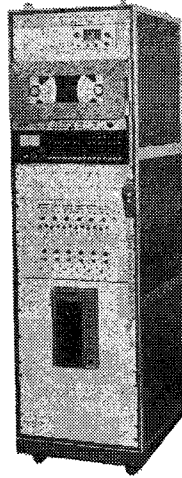
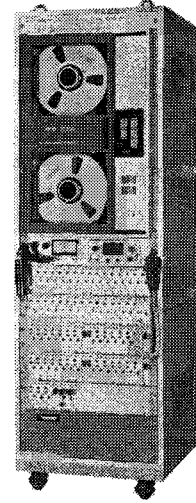
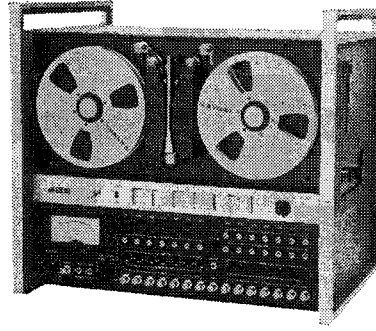
記録時間、50時間(0.76cm/sec)

●多チャンネル型 RTP-700型

33チャンネル、5速度、連続6時間記録(4.75cm/sec)

調整はサーボガンにより自動的に行なえる

ので、準備時間は非常に短い。



記録器の専門メーカー

共和電業

本社・工場 東京都調布市調布ヶ丘3-5-1
電話 東京調布0424-83-5101

- 東京事業所——03-502-3551
- 大阪営業所——06-942-2661
- 名古屋営業所——052-262-2301
- 福岡営業所——092-41-6744
- 広島営業所——0822-21-9536
- 札幌営業所——011-261-7629
- 水戸出張所——0292-25-1074

- 65 タメ池ヒ管替工事における推進圧入工法について (25-28)
杉平・藤倉・脇谷・西岡
農業土木学会誌 40—12 72—12
- 66 強化プラスチック管の力学的特性 —とくにフィラメントワイ
ンディングパイプについて— (27-33) 海老名・竹内
- 67 赤川の送泥客土試験工事 (その2) —実績と考察— (39-44)
岸上・上田・竹丸・谷畑
- 68 香川用水金羅掘トンネルの施工について (45-51) 稲田・秋
篠・米田
農業土木学会論文集 42 72—10
- 69 排水路をへだてて水田地帯と隣接する畑地の地下水面形 —
転換畑の地下排水に関する研究 (1)— (1-7) 高橋 強
- 70 土の低圧締固めについて (8-12) 荒川 稔
- 71 海岸付近帯水層の透水量係数の推定について (13-20) 近森・
上森・松田
- 72 ストレインゲージによる 移動床変化のパワースペクトル測
定について (21-28) 関谷光博
- 73 最小仕事の原理を用いた矢板の安定解析 (29-34) 沢田・吉武
- 74 タイヤローラーによって生ずる 地中応力フィルダムの締固
めに関する実験的研究 (V) (35-41) 藤井・渡辺
- 75 振動ローラーによって生ずる 地中応力 —フィルダムの締固
めに関する実験的研究 (VI)— (42-46) 藤井・渡辺
- 76 振動ローラーによる締固め地盤の動的性質の推定 —フィル
ダムの締固めに関する実験的研究 (VII)— (47-53) 藤井弘章
- 77 The Theory of Desalination of Saline Soil with Clean
ning Irrigation—The fundamental study on the des
alination of saline soil (1)—(54-59) Alam, K.M., 外3名
- 78 Experimental Verification of the Theory of Desalination
of Saline Soil—The fundamental study on the desalin
ization of salinesoil (2)— (60-65) Alam, M.K., 外3名
- 79 Application of the he Theory of Desalination of Sal
ine Soli —The fundamental study on the desalination
of saline soil (3)— (66-70) Alam, M.K., 外3名
測 量 22—5 72—5
- 80 各種光波測距儀の比較測定結果 (4-13) 建設大学校測量部,
外
- 81 陸上における最近の重力測定 (下) (14-21) 中川一郎
測 量 22—6 72—6
- 82 沖繩特集 (4-46) 吉山盛喜, 外
測 量 12—7 72—7
- 83 わが国の海洋開発 (4-9) 横山 洋
- 84 海洋開発と沿岸海域基礎調査 (10-15) 西村隼二
- 85 海洋測量調査船 (16-19) 桜井 操
- 86 海底調査と海の基本図 (20-22) 岩淵義郎
- 87 海底鉱物資源の調査研究 (23-26) 石和田靖章
測 量 22—8 72—8
- 88 レーザー光線による月測距実験の結果 (9-12) 古在由秀
- 89 電磁波測距儀測量の場合 (13-17) 須田教明
- 90 測角誤差の原因とその大きさ (18-22) 亀田和昭
測 量 22—9 72—9
- 91 地殻変動と地震予知 (4-8) 藤田尚美
- 92 地盤沈下と測量 (9-13) 加藤・島田
- 93 急傾斜地の災害調査 —空中写真を利用した路線沿い自然斜
面の崩壊危険度判定調査の例— (14-19) 中山政一
- 94 地すべりについて (20-27) 渡 正亮
- 95 リモートセンシングの話 (29-31) 西尾元充
測 量 22—10 72—10
- 96 資源衛星 <ERTS> について (4-8) 西尾元充
- 97 空から測った「環境保全に関する勧告」(9-15) 中島 巖
測 量 22—11 72—11
- 98 九州の測量事情 (4-8) 田中勇吉
- 99 関門橋における測量 (9-14) 大橋昭光
- 100 九州縦貫自動車道の概要と現況 (15-20) 吉田喜市
- 101 有明海干拓の歴史 (21-27) 御手洗三郎
- 102 シラス地帯の災害 (28-32) 鶴見英策
- 103 空中写真からみる九州の地形 (41-48) 下西時彦
- 104 奄美大島の想い出 (33-34) 西村隼二
測 量 22—12 72—12
- 105 新しい測地定数の決定 —1967 測地基準系について— (4-10)
藤井陽一郎
- 106 地盤沈下とその調査 (11-17) 佐藤・井内
JSSC 8—79 72—7
- 107 70 キロ 80 キロハイテンの溶接構造物への適用とその問題
点について (第3回) (5-60)
橋 梁 8—11 72—11
- 108 建設省土木研究所における図形処理システム (27-35) 岩松・
小池
- 109 建設省土木研究所における自動設計システム (36-43) 岩松・
工藤
- 110 単純板桁の自動製図 (72-85) 辻内・山本・坂井
- 111 浦戸大橋 (主橋) 工事における大型ケーソンの設計・施工に
ついて (44-71) 御子柴・根本・中村
- 112 P C鋼線の腐食について (その2)—主として米国の現状報
告— (89-95) 前田・間山
- 113 吊橋の歴史 (第三部) —ブルックリン吊橋物語 (1)— (96-
100) 川田忠樹
橋梁と基礎 6—11 72—11
- 114 鋼道路橋施工便覧 (1-5) 池田 甫
- 115 吊橋主塔基部の応力解析 (6-11) 吉塚・浦田
- 116 妙高大橋の計画と設計 (12-22) 渡辺・山崎・岡島・鈴木
- 117 境水道主橋梁の設計概要 (下) (26-30) 谷合・上条・人見・
土井
- 118 生浦大橋主径間上部工の工事 —架設 (下)— (31-37) 北田・
菊野
- 119 鋼材各論 ワイヤロープ (上) (38-43) 村上巳里
橋梁と基礎 6—12 72—12
- 120 道路橋支承便覧 —材料と許容応力度および摩擦について—
(1-6) 大塚昭夫
- 121 クイの設計計算図表 —道路橋下部構造設計指針による—
(7-18) 高山 勲
- 122 軸方向力と曲げモーメントを考慮した鋼床板トラス橋の応
力計算と載荷実験 一付: 連続トラス橋と鋼床板吊橋の試設
計例— (19-28) 浦田・山村・牛尾
- 123 コンクリート系長大支間橋について (32-37) 藤井郁夫
- 124 鋼材各論 ワイヤロープ (下) (38-45) 村上巳里
橋梁と基礎 7—1 73—1
- 125 場所打ちグイの施工 (1-6) 吉田・青木・塩井
- 126 補剛ゲタに軸力の生じる上路式および中路式補剛アーチ橋
(7-12) 荒井・大森
- 127 沈埋トンネルの基礎工法 —首都高速湾岸線東京港海底トン
ネル— (13-19) 岡田・中野
- 128 沈埋トンネルの耐震性 (20-27) 田村重四郎
- 129 神洲橋の設計施工 —新示方書によるプレストレスしない連
続合成ゲター (31-36) 宮北・井上・日種・伊藤



車知っている

バツグンな走行性

SHO-BOND

カットオフ・ジョイント

総延長20万米を突破した伸縮装置のエース
のような橋梁にも適合し、設計・施工が簡単で、しかも走行性
・耐久性が優れているショーボンド・カットオフジョイントは、
遂に我が国の主要道路における伸縮装置の54%にも達しました。

株式会社 **ショーボンド**

本社：東京都千代田区神田小川町2-1 Tel.292-1841(代)

- 130 鴨北橋の載荷試験—プレストレストしない連続合成ゲタ橋— (37-43) 西村・西田・中嶋・大谷
溶接学会誌 41—10 72—10
- 131 最近における専用自動溶接機の展望 (8-21) 清原道也
- 132 再加熱された再現溶接熱影響部の高温延性におよぼす引張速度の影響 (22-31) 田村・加藤
- 133 オーステナイト系ステンレス鋼鋳物ならびに溶接金属の密度 (32-42) 渡辺・高田
- 134 前面すみ肉溶接継手の変形挙動と強度に関する研究 (43-56) 佐藤・瀬尾
- 135 高周波誘導加熱による管圧接に関する研究 (第1報) (57-68) 仁藤・武田
- 136 高張力鋼溶接ボンド脆性破壊の防止に関する研究 (第2報) (69-76) 佐藤・合田・川原
- 137 溶接凝固機構とその組織の特性 (第9報) (77-86) 仙田・松田・中川・飯島・加藤
溶接技術 20—10 72—10
- 138 橋梁における現場溶接 (21-28) 西山 武
- 139 造船における現場溶接 (29-35) 河合弘昌
- 140 建築鉄骨における現場溶接 (37-44) 小林久章
- 141 大形貯油タンクの現場溶接 (45-51) 大庭・藤城・大儀
- 142 球形タンクにおける現場溶接 (53-57) 奥 久好
- 143 化学プラントにおける現場溶接 (59-64) 笹田昭三郎
- 144 大形クレーンの現場溶接 (65-70) 前田・浜室
- 145 シーパースの現場溶接 (71-76) 平野健一
- 146 ベンストックにおける現場溶接 (77-81) 中村明弘
- 147 鋼管斜杭の現場自動溶接 (83-88) 田中藤八郎, 外
溶接技術 20—11 72—11
- 148 溶接後熱処理総論 (21-25) 渡辺正紀
- 149 超肉厚溶接構造物の溶接後熱処理について (27-30) 宮野樺太男
- 150 局部 SR と全体 SR の長所, 短所 (31-35) 妹島五彦, 外
- 151 残留応力の機械的処理とその熱的処理との比較 (37-42) 池上輝夫
- 152 ステンレス鋼の応力除去熱処理 (43-47) 遅沢浩一郎
- 153 応力除去焼鈍割れおよび脆化 (49-54) 内木虎蔵, 外
- 154 球形タンクの現地焼鈍工事の施工例 (55-58) 安井喜代治
- 155 保障する時代に生きる部品メーカーの溶接技術 (59-67) 尾上栄一
- 156 電子ビーム溶接機—KEW-2 形の開発について— (69-77) 稲垣道夫, 外
- 157 造船における平板板継ぎ溶接工程の自動化装置—(片面自動溶接装置と自動目合せ仮付装置)— (83-88) 林田 正, 外
- 158 すみ肉溶接の脚長と溶接条件 (そのII) (サブマージアーク溶接) (89-93) 橋本啓介
- 159 ファブリケータよりみた半自動溶接 (4) (97-102) 内田信邦
- 160 電気抵抗式金属厚み測定器の新しい応用分野 (109-115) 三田平一郎
材 料 21—227 72—8
- 161 疲労き裂の成長速度に関する実験的法則とその関連理論 (710-719) 北川英夫
- 162 低サイクル疲労におけるサイクリッククリープ破壊 (720-724) 白鳥英亮
- 163 疲労寿命推定の問題点 (725-732) 中村・鎌田・堀川
- 164 表面硬化材の疲労強度に及ぼす残留応力の影響 (733-738) 大内田・西岡・早山
- 165 回転曲げ塑性疲労における応力—ひずみ関係 (739-745) 中川隆夫
- 166 疲労き裂進展速度曲線に関する一考察 (746-752) 長谷川・川田
- 167 繰返し塑性ひずみと累積疲労損傷 (疲労限度以下の応力による疲労損傷) (753-758) 菊川・城野・宋
- 168 平均応力変動と疲労強度 (759-765) 小谷・鯉淵
- 169 ランダム荷重およびプログラム荷重のもとでの S50c 切欠き鋼材の疲労強度 (766-771) 田中・山元・関
- 170 高静水圧下の引張圧縮疲労試験装置の試作とこれによる二, 三の実験 (772-777) 大路・小倉・杉本・家治
- 171 高静水圧力下の多結晶金属材料のねじりクリープ変形 (782-790) 元家・山蔭・大南
- 172 焼なましおよび冷間圧延した低炭素鋼の疲労過程に及ぼす応力振幅の影響 (791-799) 平・田中・河波
- 173 高分子材料の疲労き裂伝ばに関する研究 (800-806) 黒部・芝島
材 料 21—228 72—9
- 174 ガラス材料の進歩 (817-825) 田代 仁
- 175 ポリアセタールの摩擦・摩耗と Pv 値に及ぼすカーボン繊維と PTFE の充てん効果について (826-831) 山口・関口・杉山・鈴木
- 176 有機質絶縁材料の耐アーク性と化学構造との関係 (832-838) 池尻忠夫
- 177 空孔の存在による動的応力のじょう乱に関する数値解析 (839-845) 勝山・佐々・伊藤
- 178 高純度鉄の疲労変形機構に関する X 線的研究 (結晶粒方位依存性について) (846-851) 菅野・小島
- 179 高温における線材の定ひずみ塑性ねじり疲労 (852-858) 藤谷・元津
- 180 高分子材の疲労き裂成長に及ぼす応力比の影響 (859-863) 北川正義
- 181 応力塗料膜のき裂特性に関する研究 (膜厚の影響について) (864-868) 菅野 昭
- 182 岩石中を伝ばする音波の減衰定数の測定 (自由振動法による減衰定数の測定) (869-875) 山口・奥村
- 183 X 線ラインプロフィール解析法とその応用 (I) (876-881) 後藤 徹
材 料 21—229 72—10
- 184 FRP の衝撃に関する研究 (強化プラスチック部門委員会研究報告) (884-892) 遠藤・吉田
- 185 炭素繊維強化複合材料の現状と将来性について (893-898) 熊沢俊二
- 186 FRP の機械的性質 (積層 GRP 板の各層における基材の影響) (899-905) 小牧・黒田
- 187 Hybrid Composite (主として炭素繊維およびガラス繊維強化エポキシ樹脂について) (906-910) 藤井・田中
- 188 第1回 FRP シンポジウムパネルディスカッション (FRP の強度の信頼性と設計) (911-914) 藤井太一
- 189 抵抗線ひずみゲージによる低弾性係数材のひずみ測定 (915-920) 竹内・楠本
- 190 ボアソン比変化の考えを基にした複合材料における破壊機構に関する研究 (921-927) 藤井・水川・座古
- 191 低サイクル繰返し荷重を受ける FRP の応力—ひずみ曲線の粘弾性的表示— (728-934) 吉田治夫
- 192 FRP 接着構造体の強度 (935-941) 早川雄三
- 193 FRP, CFRP と FRTP 複合の曲げに及ぼす効果について (942-946) 貴志・岩津・福田・吉井

トヨ、さく岩機 トヨ、ビット.ロッド



さく岩機をつくらって40年

長い経験と
技術を生かして
使いやすさと
省力化をテーマに
一貫した生産体制のもとで
つくられる——

トヨ、さく岩機
トヨ、ビット.ロッド

発売元

Ⓐ 東洋さく岩機販売株式会社

東京本支店	東京都中央区日本橋3-11-2	TEL (272) 1711
大阪支店	大阪市東区南久宝寺町5-5	TEL (252) 3231
名古屋支店	名古屋市中区錦1丁目3-4(不銀ビル)	TEL (231) 7491
福岡支店	福岡市中央区薬院2丁目11番15号	TEL (76) 3492
札幌支店	札幌市南二条西13丁目角	TEL (24) 6451
仙台支店	仙台市上杉5丁目8番53号	TEL (63) 2351
高松営業所	高松市多賀町1丁目3-4-11(中屋ビル)	TEL (61) 6137
広島営業所	広島市東区3丁目3-17	TEL (82) 7281

製造元 ⊕ 東洋工業株式会社

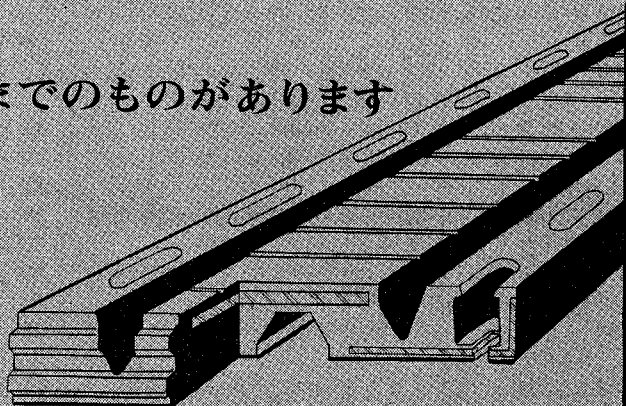
- 194 ガラス繊維積層強化複合材のねじり強度 および 基材中の空孔の影響について (949-955) 網島・松見・谷本
- 195 ガラス繊維積層強化複合材の圧縮強度について (956-959) 網島・松見
- 196 X線ラインプロファイル解析法とその応用(II) (960-966) 後藤徹
材 料 21-230 72-11
- 197 弾塑性体の構成方程式の熱力学的取扱について (969-977) 北川 浩
- 198 アルカリ硼酸塩ガラスの密度 (978-980) 功刀・小西・竹内・山手
- 199 シラスパルーン充てん ポリスチレン 複合材の機械的性質について (981-988) 小野岡・渡辺・長谷川・小川
- 200 き裂進展の非線型欠陥モデル (989-993) 中峠哲朗
- 201 微視的非線型欠陥の局部破壊と残留ひずみ (994-998) 中峠哲朗
- 202 低炭素鋼切欠き材における 疲労き裂発生過程の微視的観察 (999-1005) 平・田中・柳
- 203 ポリメチルメタクリレートの中の スポールクラックの形態 (1006-1011) 高橋 清
- 204 ポリカーボネイト材の遅れき裂成長について (1012-1016) 北川正義
- 205 複合材料としてのコンクリートの熱拡散率 (1017-1023) 徳田・庄谷
- 206 片張り引張荷重による 岩石の疲労破壊の確率過程論的考察 (1024-1029) 西松・R. Heroesewojo
- 207 血管壁の バイオメカニクス 的研究 (三種類の動脈壁の変形挙動と組織観察) (1030-1036) 林・佐藤・石井・半田・森・森竹
- 208 集合組織の測定とその応用 (1037-1042) 武智 弘
舗 装 7-11 72-11
- 209 ベンケルマンビーム たわみ量を利用した 簡易舗装の実際一大分県における簡易舗装の設計例一 (3-7) 佐藤・山口
- 210 路床材の凍上および凍結融解後の強度 (8-13) 瀬在 武
- 211 アスファルトプラントの騒音対策の一例 (14-17) 島田 彬
- 212 北海道の自転車道 (18-22) 丸子・小谷・島
- 213 栃木県における高速道路関連地方道の舗装 (23-27) 田辺英昭
- 214 舗装の力学 (30-33) 植下 協
- 215 舗装工事の動向とセメントコンクリート舗装の今後(上) (34-37) 後藤 博
舗 装 7-12 72-12
- 216 舗装の力学(第2回) (29-32) 植下 協
- 217 舗装工事の動向とセメントコンクリート舗装の今後一講座・セメントコンクリート舗装の施工を終わって一 (33-36) 後藤博
コンクリートジャーナル 11-11 72-11
- 218 プレストレストコンクリート原子炉容器に関する研究(上) —PCR V の模型実験— (I-II) 神谷・野尻
- 219 マスコンクリートの長期材令における 鉱物・化学的諸性状について (12-23) 田代・是石
- 220 海中レストラン CPC 窓わく 取付け工事 (24-31) 堀島・鶴田・田沢・星野
- 221 鉄筋コンクリート・プレストレストコンクリート設計計算入門/1. 設計の基本的な考え方(その1) (32-40) 狩野芳一
- 222 コンクリートの試験方法(第2回) 2. スランブ試験 (41-45) 川島 力
- 223 界面を有し相互作用を及ぼし合う 連続体の熱力学とコンクリート構造物のクリーブ解析 (50-58) 河角 誠
- 224 フェロセメントの引張試験 (59-62) 大友・万木
- 225 プレストレストコンクリート圧力容器に関する ACI-ASM E 示方書案およびイギリスの基準案について (46-49) 青柳征夫
コンクリート ジャーナル 10-12 72-12
- 226 まだ固まらないコンクリートのレオロジーの研究 (1-10) 村田二郎
- 227 プレストレストコンクリート原子炉容器に関する研究(下) —PCR V の模型実験 (II-22) 神谷・野尻
- 228 プレバクトコンクリートによる 枯延ダム修繕工事 (23-24) 土田秀郎
コンクリート ジャーナル 11-1 73-1
- 229 建築物の解体工法 (22-30) 毛見虎雄
- 230 土木構造物の解体工法 (31-38) 和田・坂野
- 231 新しい解体工法 (39-48) 笠井芳夫
- 232 解体工事に伴う騒音と振動 (49-59) 宮本俊二
- 233 解体工事に伴う廃棄物の処理・処分 (60-67) 柿崎正義
- 234 コンクリート破砕薬による 姑射橋アーチ橋の解体 (68-71) 塚本・野中
- 235 日銀本店ビルの解体 (72-76) 橋本 純
- 236 油圧ジャッキによる 高架橋の解体 (77-79) 水畑・滝川
- 237 東京海上ビル旧館基礎ぐいの解体 (80-88) 小笠原・山根
- 238 鉄筋コンクリート 構造物の無騒音無振動破壊工法に関する研究 (89-109) 榎並 昭
セメント コンクリート 306 72-8
- 239 超早強ポルトランドセメントを用いたコンクリートの基本的性状に関する共同研究 (2-11) 土岐・椎名・中原・齋藤・岳上・塚山
- 240 熱海水に対する セメントモルタルとコンクリートの耐食性 (12-18) 金子・近藤・藤井
- 241 有機物を混合したセメント 硬化体の加熱による物性挙動に関する研究 (19-23) 岸谷・藤井・森
- 242 白色レデーミクスコンクリートの諸性質 (26-32) 石村・栗原・神保
- 243 正負繰返し荷重を受ける鉄筋とコンクリートとの付着性状 (33-38) 小阪・谷川
セメント コンクリート 307 72-9
- 244 高温時におけるコンクリートの 力学的性質に関する実験一 海水淡水化装置用コンクリート 缶体の開発研究一 (2-8) 野尻・田沢・山下
- 245 超早強コンクリートの施工に関する一実験 (9-14) 宮南・加藤
- 246 超早強セメントを用いた鉄筋コンクリートはりのクリーブ (15-19) 奥島・鈴木・大野
- 247 ジェットセメントの製品用コンクリートへの利用に関する基礎研究 (22-33) 河野・堅川・内川・植田・加藤
- 248 各種セメントコンクリートに混和した膨張材の効果 (34-38) 門司・井上・沢野
- 249 各種セメントコンクリートの炭酸化 (40-46) 森・白山・上村・依田
セメント コンクリート 308 72-10
- 250 コンクリート構造物の耐久性 (2-4) 浜田 稔
- 251 コンクリートの耐久性 (5-7) 国分正胤
- 252 耐久性に関するコンクリートの性質一コンクリートの耐候性 (8-14) 洪 悦郎
- 253 耐久性に関するコンクリートの性質一コンクリートの耐久

トランスフレックス®

橋梁・高架道路用 伸縮継手

伸縮量が大きい

最大330mm(特殊660mm)までのものがあります



超早強度無収縮ポリエステルコンクリート

スタ-コンクリートP

も製造しております。

技術に生きる

ニッタ

※資料請求は当社開発課までお申し出下さい。



新田ベルト株式会社

本社 〒541 大阪府東区博労町4丁目20
電話 大阪(06)251-5611(総機)

東京支店 (03)572-2301

福岡営業所 (092)311-4316

名古屋支店 (052)586-2121

北陸出張所 (0762)93-6225

札幌営業所 (011)241-0858

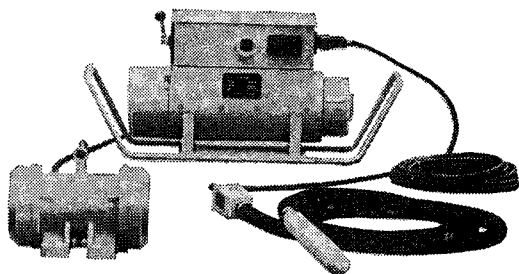
広島出張所 (082)211-2300

- 性 (15-22) 村田二郎
- 254 耐久性に関するコンクリートの性質—コンクリートの耐火・耐熱性 (23-30) 高野孝次
- 255 耐久性に関するコンクリートの性質—コンクリートの耐化学薬品性 (31-38) 東京大学工学部建築科 岸谷研究室
- 256 耐久性に関するコンクリートの性質—コンクリート系床の耐摩耗性 (38-44) 岡田尚三
- 257 耐久性に関するコンクリートの性質—鉄筋コンクリートの電食 (44-49) 滝原幹夫
- 258 耐久性に関するコンクリートの性質—コンクリート中の鉄筋のさび (50-57) 神山 一
- 259 コンクリート構造物の耐久性を向上させるための方法と配慮—材料, 配合の面から (59-64) 岸谷孝一
- 260 コンクリート構造物の耐久性を向上させるための方法と配慮—施工および維持補修の面から—建築の場合— (65-72) 小林清周
- 261 コンクリート構造物の耐久性を向上させるための方法と配慮—施工および維持補修・補強の面から—土木構造物の場合 (73-79) 津野・泉
- 262 コンクリート構造物の耐久性を向上させるための方法と配慮—一般構造の面から (建築) (82-86) 山田永城
- 263 コンクリート構造物の耐久性を向上させるための方法と配慮—構造設計の面からみた土木関係—コンクリート構造物の耐久性 (87-93) 近藤時夫
- 264 コンクリート構造物の耐久性を向上させるための方法と配慮—仕上げ面から (93-101) 丸一俊雄
- 265 被害例と対策—各種土木構造物について (102-107) 柳田 力
- 266 被害例と対策—道路橋, 主として床板について (108-114) 国広哲男
- 267 被害例と対策—鉄道関係構造物の凍害について (115-121) 塚部・藤田
- 268 被害例と対策—建物の経年変化 (124-128) 大場民雄
- 269 被害例と対策—熟汚, 煙突について (129-137) 瀬谷 胖
- 270 被害例と対策—温泉地における建築物の腐食実例とその対策 (138-147) 東京大学工学部建築学科 岸谷研究室
- 271 鉄筋コンクリート構造物の耐力診断—調査方法と判定方法 (148-154) 斎藤辰彦
- セメント コンクリート 309 72—11
- 272 コンクリートの圧縮強度試験におけるキャッピング材料およびキャッピング方法 (2-7) セメント協会
- 273 テレスコピックボールの開発試験 (8-13) 立石哲郎
- 274 ヨーロッパにおけるコンクリート製品工業を視察して (16-22) 牧 直
- 275 プレキャスト鉄筋コンクリート (PRC) 工法 (23-28) 松江・紀室
- 276 沖縄のコンクリート製品事情 (29-34) 杉木六郎
- 277 最近におけるセメント需給概況 (35-41) セメント協会
- 河 川 315 72—10
- 278 新全総と水資源問題 (7-10) 中沢式仁
- 279 公共用水域における水質汚濁の状況と今後の水質規制上の問題点 (11-17) 帆足建八
- 280 市街化区域内の土地の先買い制度 (18-23) 亀本和彦
- 281 労働安全衛生法の概要 (24-28) 加来利一
- 282 九州地方直轄河川の現況とその課題 (34-41) 岡島信夫
- 河 川 361 72—11
- 283 愛知用水の今昔 (16-20) 佐々木四郎
- 284 余剰農業用水の都市用水への転用 (21-25) 内山則夫
- 285 治水緑地の構想 (26-29) 小坂 忠
- 286 都市化と神奈川県河川の (30-45) 宮川剛造
- 287 中国地方の地域開発と水資源 (46-51) 中国地建企画部
- 水温の研究 16—4 72—11
- 288 最上川の自然的特性と利水上の問題点 (2-9) 加藤武雄
- 289 地下水による消雪 (10-17) 東浦将夫
- 290 開水路の流れのエネルギーの考察 (18-22) 松原 茂
- 水道協会雑誌 458 72—11
- 291 砂ろ過の抑留順序に関する研究 (I) (2-9) 丹保・小笠原
- 292 上向中速ろ過法による簡易水道ろ過池の機能に関する研究 (10-18) 小瀬・佐藤
- 293 射水上水道企業団の創設の経緯 (19-29) 鷺塚利夫
- 294 水中のウイルスと水処理の基準 (30-38) 河村 勸
- 水道協会雑誌 459 72—12
- 295 労働安全衛生法の概要 (2-5) 福岡秋夫
- 296 傾斜板沈殿池の除去特性—横断方向密度循環流の影響 (6-26) 丹保・庄司
- 297 配水管網設計法に関する研究 (IV)—管路欠損に対処するための設計— (27-41) 高桑哲男
- 下水道協会誌 9—101 72—10
- 298 エアレーションタンク内の酸素移動消費動力および流動状態に関する研究 (II) (2-12) 松本・大沼・羽田
- 299 活性炭の湿式酸化再生法におけるブチルアミンの脱臭 (13-15) 吉田・植野・長谷部・伊藤
- 300 下水汚泥の流動性に関する検討 (16-23) 吉田・荻野・吉井
- 301 豊中市庄内下水処理場の工事施工概要 (24-32) 野間・酒本・田畑
- 302 米国における水質料金制度の最近の動向 (33-35) 森 敏一
- 303 水質汚濁調査のための生態系のシミュレーション (36-38) 岡田光世
- 304 水の再生に関する技術的進歩の動向 (39-44) 京才俊則
- 305 藻類を用いた富栄養化問題の研究 (45-47) 田中義則
- 306 廃水処理システムにおける粉末活性炭の再生と利用 (48-50) 竹田 茂
- 307 KP 廃水の脱色 (51-52) 森島 彰
- 下水道協会誌 9—102 72—11
- 308 臨海中小企業団地の工場排水対策 (1) (19-36) 佐藤昌之
- 309 活性炭の湿式酸化再生法によるトウモロコシでんぷん工場悪臭の除去 (37-39) 吉田・植野・長谷部・南
- 310 冷凍処理した汚泥の脱水 (40-46) 尾高・岡田
- 311 寝屋川南部流域下水道事業 (47-54) 田中・手島・柴田
- 下水道協会誌 9—103 72—12
- 312 臨海中小企業団地の工場排水対策 (2) —根岸湾八地区埋立て地工場排水処理対策— (2-17) 佐藤昌之
- 313 ゼオライトを汚濁助剤とする余剰汚泥処理法 (18-24) 三箇・高橋・吉岡
- 314 PCB による水汚染とその分析法 (25-32) 立川 涼
- 315 御笠川, 那珂川水系の汚濁状況に関する総合調査 (31-45) 山本・諸頭・中武
- 316 青森市八重田終末処理場の概要 (46-60) 相馬国基
- 工業用水 170 72—11
- 317 昭和 48 年度工業用水関係予算要求について (3-13) 通産省企業局工業用水課
- 318 産業立地政策の新しい展開 (14-17) 児玉清隆
- 319 昭和 48 年度の通商産業省の公害対策について (18-25) 通産省公害保安局公害防止企画課
- 320 昭和 48 年度水資源開発公団概算要求について (26-30) 永岡

Hayashi VIBRATORS

長い伝統

最新の技術



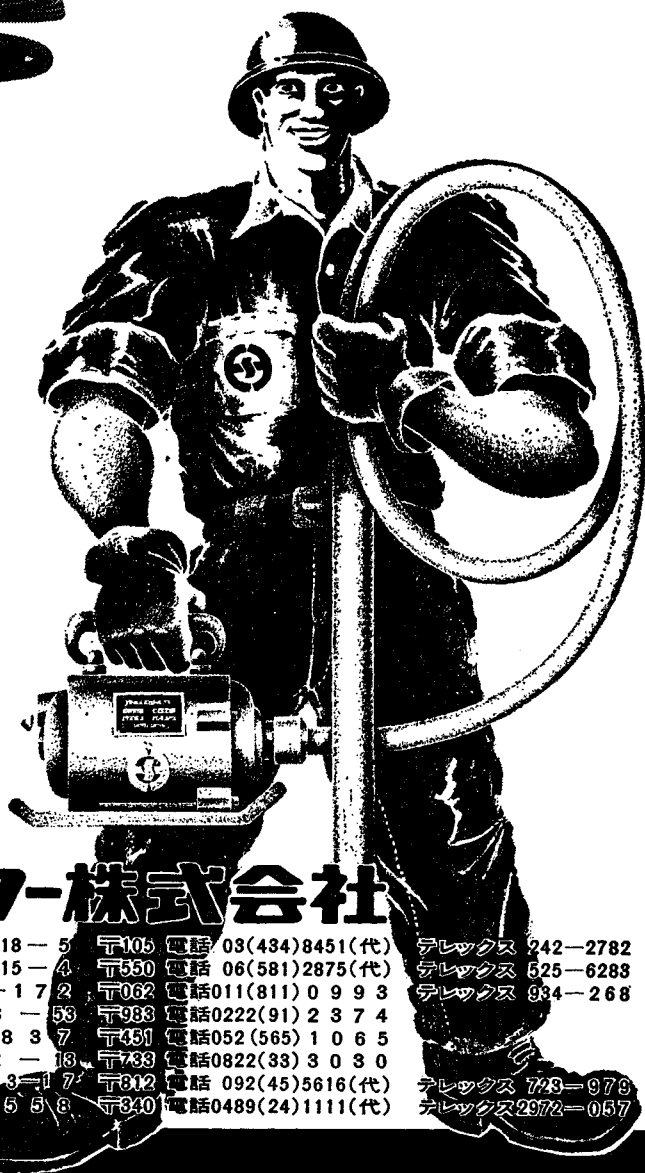
高周波バイブレーターシリーズ
 “48V→安全ボルト”
 “9,000~10,800 v p m→高振動”

周波数変換機

HFC 3A型 (3KVA)	外振型	HKM 40A型 HKM 120A型
HFC 6A型 (6KVA)		
	内部型 (モーター内蔵型)	HMV 40型 HMV 60型



凡ゆるコンクリート
 施工に即応する
 電気式・空気式・エンジン式
 各種バイブレーター



林バイブレーター株式会社

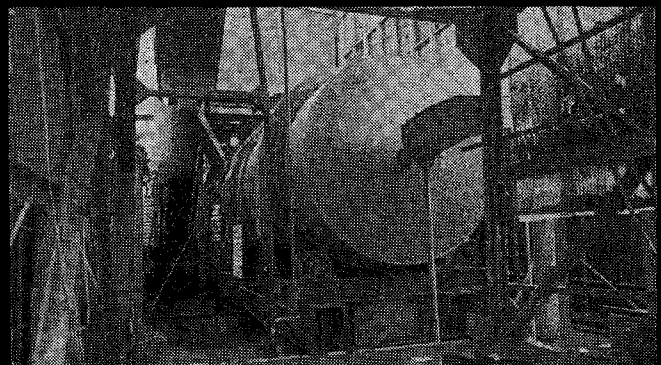
本社及東京支店	東京都港区浜松町1-18-5	〒105	電話 03(434)8451(代)	テレックス 242-2782
大阪支店	大阪市西区本田町2-15-4	〒550	電話 06(581)2875(代)	テレックス 525-6283
札幌出張所	札幌市豊平区平岸3条5-17-2	〒062	電話011(811)0993	テレックス 984-268
仙台出張所	仙台市原町1-3-53	〒983	電話0222(91)2374	
名古屋出張所	名古屋市西区牛島町8-3-7	〒451	電話052(565)1065	
広島出張所	広島市舟入中町2-18	〒733	電話0822(33)3030	
九州出張所	福岡市博多区美野島3-1-3-17	〒812	電話 092(45)5616(代)	テレックス 729-978
工場	埼玉県草加市稻荷町1-5-58	〒340	電話0489(24)1111(代)	テレックス2972-057

- 乙哉
- 321 全面施行された海洋汚染防止法—廃棄物の排出の規制を中心として (31-37) 飯島 悟
- 322 工業用水道のメーターについて (38-47) 向井恭一郎
- 323 人工地下水における注水井戸の目づまりと井戸能力の回復—妻沼実験地の例— (48-54) 永井・村下
- 水処理技術 13—9 72—9
- 324 産業エコロジーモデルによる産業政策へのエコロジー的接近 (1-20) 渡辺千伊
- 325 イオン浮選, 沈殿浮選, 吸着粒子浮選を利用した産業廃水の処理法について (21-33) 下飯坂・松岡
- 326 低級アルデヒド類含有廃水の毒性とその処理法の検案 (35-47) 井上・本多
- 327 酸性水の鉄イオン除去 (53-57) 増田・梶原
- 328 馬鈴しょでん粉製造廃水の各種土質浸透中における水質の変化について (59-64) 黒田久仁男
- 329 「水処理工学」粒状層ろ過 (清澄ろ過) (4) (60-72) 丹保憲仁
- 330 新時代を迎える上水および下水のオゾン処理 (73-80) 石野紀元
- 331 フィルタープレスの性能に及ぼす運転変数の影響 (81-87) 細野慎一
- 332 Sheffield 汚泥焼却プラント (87-89) 中野勝彦
- 333 スラッジ焼却灰の土質学的性質 (89-91) 上出健一
- 334 酸性低濃度窒素含有廃水の生物処理 (96-100) 平田一郎
- 335 高速散布汚床における各種汚材について (101-104) 森川治記
- 水処理技術 13—10 72—10
- 336 土壌の汚染と浄化作用 (4)—有機性排水による汚染—(1-13) 高橋一三
- 337 活性汚泥と糸状性生物 (15-22) 沢田敏一
- 338 アルデヒドおよびビニル化合物含有廃水の石灰処理 (23-36) 井上・本多
- 339 BOD 除去反応における自触媒特性とその反応速度曲線の解析 (1) (37-44) 中山真一
- 340 下水汚泥加熱処理分離液の処理について (45-52) 笠倉忠夫
- 水処理技術 13—11 72—11
- 341 環境汚染と下水処理の生物地化学的視点 (1)—環境汚染の生物地化学的視点— (3-10) 橋本 獎
- 342 無機凝集剤研究の動向 (11-16) 吉田・高林
- 343 蛍光灯製造工場の廃水および廃棄物中の水銀処理法の検討 (17-23) 本田淳裕, 外 5 名
- 344 鉱山廃 (排) 水流入・かんがい水の溶存酸素の減少が水稻の生育におよぼす影響ならびに溶存酸素の簡易測定法の研究 (25-32) 豊田正友
- 345 BOD 除去反応における自触媒特性とその反応速度曲線の解析 (2) (33-43) 中山真一
- 346 活性炭素利用による有色廃水の処理法—特に染色加工廃水について— (53-58) 幾野重遠
- 用水と廃水 14—7 72—7
- 347 パルプ・紙工場の廃水処理に対する—考察 (4-22) 山口徳一郎
- 348 し尿排水における生物処理 (23-29) 早川 登
- 349 いもでんぷん廃水における生物的処理 (30-33) 渡辺音二
- 350 家畜廃水における生物処理 (35-47) 大野 茂
- 351 日本における畜場廃水の生物処理 (48-54) 松井武夫
- 352 石油化学工業廃水における生物処理 (73-78) 関川泰弘
- 用水と廃水 14—8 72—8
- 353 生物還元処理 (4-13) 須藤蔭一
- 354 生物をつかった 3 次処理—上水道の場合— (14-20) 小島貞男
- 355 蚕糸工場廃水の実態とその処理 (1) (21-36) 大野・桜井・吉野・高橋・小川
- 356 生活系固体廃棄物の性状とその処理の考察 (6) (37-41) 栗原四郎
- 357 荒川水系下流部の水質汚濁と水生昆虫相 (42-50) 井出嘉雄
- 358 千刈貯水池のかび臭について (61-71) 矢野・針間矢・岩田・塩路・有本
- 359 バッチ式藻類増殖能測定法の評価, 廃水浄化の現況 (133-136) 安田 勉
- 用水と廃水 14—9 72—9
- 360 PCB について (3-3) 田辺弘也
- 361 PCB による環境汚染 (5-13) 磯野直秀
- 362 PCB を中心とする汚染水の放射線処理 (14-20) 砂田 毅
- 363 PCB 分析法 (21-29) 脇本・立川
- 364 琵琶湖における PCB 汚染 (30-36) 藤原邦達
- 365 東京湾における生体系汚染 (55-59) 道口正雄
- 366 生活系固体廃棄物の性状とその処理の考察 (7) (61-65) 栗原四郎
- 367 蚕糸工場排水の実態とその処理 (2) (67-84) 大野・高橋・桜井・小川・吉野
- 368 水質公害概論 (1) (107-109) 山村勝美
- 369 有害物質処理技術 (1) (110-112) 川原 浩
- 370 広域水道圏のモデルプラン論 流出油処理剤について (113-114)
- 371 湖河川での藻類増殖に及ぼす 2 次, 3 次処理水の影響, 鉄分駆除プロセスに及ぼす水の化学成分の影響 (117-118) 安齋純雄
- 用水と廃水 14—10 72—10
- 372 水環境における微量有機物分析のさいの問題点 (3-11) 片瀬隆雄
- 373 活性汚泥法における基質除去についての—考察 (13-18) 勝又・須藤
- 374 給水装置の事故原因とその対策について (19-25) 石山米男
- 375 針珪藻 (Synedraacus) による過閉塞について (27-33) 榎林 茂
- 376 し尿処理水の急速ろ過法による高度処理実験—中間報告— (45-50) 渡辺・中藪
- 377 ヒメダカを供試魚とする TLm 標準試験法の提案 (51-57) 田端健二
- 378 愛媛県加茂川水系の水質調査 (その 3)—主として増水時における表流水の水質変化について (58-62) 田坂茂美
- 用水と廃水 14—11 72—11
- 379 日本における地下水のトリチウム (II) (5-10) 落合・川崎
- 380 鉄鋼酸洗廃水処理の問題点について (11-18) 久保雅嗣
- 381 生活系固体廃棄物の性状とその処理の考察 (8) (19-24) 栗原四郎
- 382 多層ろ過池における高速ろ過 (25-33) 長谷川正晴
- 383 フッ素による地下水の汚染について (34-47) 井上頼輝
- 384 汚泥処理の現状と問題点 (48-55) 宮崎 保
- 385 活性汚泥中のタンパク質の定量について (56-59) 馬淵依子
- 386 住宅団地下水処理場における時間別サンプルの試験結果について (60-68) 山内勝由
- 387 八ヶ岳西斜面上川水系の水生昆虫相—諏訪湖流入河川の研究— (79-88) 井出嘉雄
- 388 都市河川における浄化対策—名古屋市堀川について他川運水による浄化効果— (89-93) 松井和夫, 外

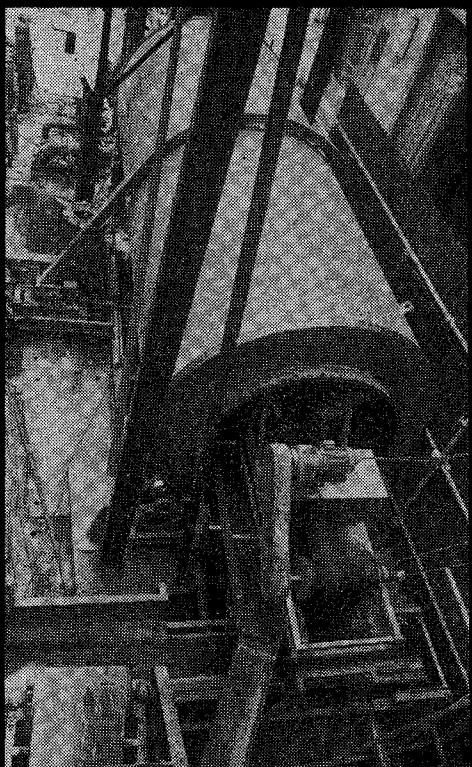
流体機械のトップメーカー〈荏原〉が開発した…



加圧送排泥設備(ポンプ台車)



泥水処理設備(デハイドラム)



RC分級機

写真は関東電気通信局の新松戸局分局工事に活躍したエハラ泥水シールド式トンネル工事設備

特許・実用新案申請中

- RC分級機・デハイドラムの使用により、他に例を見ない完全泥水処理方式で、処理水はそのまま河川などへ放流できます。
- 処理設備で分離された土砂は含水率が低いため、水がしたたることがなく、ダンプ車などで輸送できます。
- 処理設備はコンパクトにまとめられており、据付スペースは最小で済みます。
- 加圧送排泥設備は、カッター水圧室内圧力の自動制御・各種計測装置を含め、カッターと共に前進する台車上に、コンパクトにまとめられております。

エハラ

泥水シールド式トンネル工事設備

EBARA 荏原製作所

本社：東京都大田区羽田旭町 741-3111
東京支社：東京都中央区銀座6丁目 朝日ビル 572-5611
大阪支社：大阪市北区中之島2丁目 新朝日ビル 203-5441
営業所：名古屋・福岡・札幌 出張所：仙台・広島・新潟・高松

- 空気調和・衛生工学 46-7 72-7
- 389 アメリカ・カナダの熱供給事業の概要 (7-14) 内田秀雄
- 390 アメリカ・カナダの熱供給事業調査報告 (15-27) 保田 尚
- 391 シカゴ・ロバートテラーホームズの地域暖房設備 (29-36) 古沢岑生
- 392 レストン・ニュータウンの地域冷房 (37-42) 倉沢健治
- 393 ベンドの相当長について (43-45) 大和田・千葉
空気調和・衛生工学 46-8 72-8
- 394 電算機室の空気調和に関する一考察 (2) (1-10) 早川・青木・小川
空気調和・衛生工学 46-9 72-9
- 395 空気清浄室に関する研究 (1-12) 早川・正田・清水・岡崎
- 396 サブミクロンじんあいのろ過に関する研究 (5) (13-19) 新津・吉川・久保田
- 397 空気調和設備の経常費 (7) (21-29) 尾島・渡辺・真柄・高草木・松島・平野・徳永
発電水力 120 72-9
- 398 新豊根発電所放水口の設計と施工について (3-31) 福田・渡部
- 399 下小鳥ロックフィルダム の設計と施工について (32-62) 矢ヶ崎・原田
- 400 琵琶湖開発の特別立法について (63-71) 嵯谷二郎
- 401 ダムコンクリート打設時の温度上昇について (72-82) 菅・有沢
- 402 土木技術者のための地質 (第5部) (89-92) 田中治雄
発電水力 121 72-11
- 403 日本経済の課題 (3-7) 大沢悦治
- 404 水力開発の懐古と展望 (8-13) 久保田豊
- 405 国際岩の力学会雑感一地下発電所を併記して一 (14-25) 吉田登
- 406 下小鳥ロックフィルダム の設計と施工 (そのII) (26-49) 矢ヶ崎・原田
- 407 補修材料としてのエポキシ樹脂モルタルの諸特性について (50-61) 奥田 徹
- 408 温水拡散模型実験の相似性について (62-68) 大西外明
- 409 圧力トンネルの内径とコンクリートの巻立厚さ (1) (69-74) 西川・副田
- 410 非越流コンクリート重力ダム の設計 (75-83) 高畑政信
大ダム 62 72-12
- 411 ロックフィルダム の挙動解析一築堤湛水および地震時について一 (1-26) 林 正夫
- 412 ダムの測定と管理 (27-38) 飯田隆一
- 413 新冠ダム一計画の概要と技術的特質一 (76-78) 浜田 正
- 414 大雪ダムの工事概要 (79-83) 相田俊郎
ダム日本 333 72-7
- 415 君ヶ野ダム施工について (7-17) 松岡善幸
ダム日本 334 72-8
- 416 中津川第1発電所新高野ダム工事の概要 (9-21) 高橋正一
- 417 松川ダムの施工について (22-33) 塩入康治
ダム日本 335 72-9
- 418 広瀬ダムの施工について (7-16) 工藤信雄
- 419 利根川上流ダム群の統合管理について (その1. 高水篇) (17-27) 寺田斐夫
- 420 高密度社会における水問題一琵琶湖・淀川の水問題を考える一 (28-35) 藤野良幸
- 421 ダム建設労働の特質 (最終回) (36-40) 嶺 学
ダム日本 336 72-10
- 422 真名川ダム建設工事における施工機械 (9-26) 兼元 了
- 423 大雪ダムの工事計画とその設定 (21-32) 相田俊郎
- 424 利根川上流ダム群の統合管理について (その2. 低水編) (39-45) 寺田斐夫
ダム日本 337 72-11
- 425 御所ダムの設計について (11-22) 山影 茂
水門鉄管 77 72-9
- 426 中津川第一発電所水圧鉄管工事報告 (1-8) 松山・片野
- 427 穴藤ダム洪水吐門扉について (9-15) 佐野・中村
- 428 新野花南発電所門扉について (16-20) 小野里節夫
- 429 新荒川取水堰水門について (21-26) 坂本 義
- 430 防錆防食塗装講座 (その1) (27-32) 高橋弘孝
港湾荷役 17-3 72-5
- 431 沖縄の港湾の現状と今後の整備展望 (312-316, 311) 中村竜二
- 432 横浜港におけるラッシュ船寄港紛争をめぐる (317-321) 永田幸雄
- 433 C型デッキローリングガントリークレーンについて (322-326) 土居 裕
- 434 博多港須崎埠頭ニューマチックアンローダの設計について (333-336)
港湾荷役 17-4 72
- 435 昭和47年度港湾整備事業主要各港予算について (403-413) 本田 清
- 436 車両制限令改正について (414-419) 村上順雄
- 437 港湾施設と航空機の運航について (419-422) 有川修豊
- 438 国鉄の石油パイプライン計画 (423-426) 高村静雄
OCEAN AGE 4-11 72-11
- 439 本格的な幕明けを迎えたわが国海洋開発産業 (18-23) 橋本毅
- 440 海洋機器開発と企業の関心度 (25-35) 田村忠男
- 441 海洋レジャー機器開発のアイデア (36-51) 岩田・今井・鷲尾・有川
- 442 有害汚染物質 PCB の魚類に対する影響 I (91-95) 柳井繁美
- 443 北海道のサケマス増殖について (67-73) 武田重秀
- 444 海洋照明技術の開発の現状 (74-77) 田中民雄
- 445 超音波カメラ (79-82) 小倉東洋
- 446 ヘリウムガスの精製と潜水用呼吸ガス (83-88) 橋浦弘昌
- 447 海洋開発機器ダイジェスト (96-99) 芦野民雄
地すべり 9-1 72-7
- 448 伸縮計観測よりみた猿供養寺地すべりの運動特性 (1-8) 中村浩之
- 449 Water film 面を含む地すべり面の安定計算 (9-19) 玉田文吾
- 450 栃尾市矢津地すべりについて (20-31) 湯原・西村・岩崎・大久保・川本
- 451 地すべり地における地温測定調査について (3) 一御殿山・亀ノ瀬両地すべり地一 (32-38) 竹内篤雄
地すべり 9-2 72-10
- 452 豊浜地すべり (北海道松山支庁乙部町地内) について (3-19) 星野・吉田・石巻
- 453 地すべり地におけるグラウトによるしゃ水壁工とその効果判定 (21-32) 松林正義
- 454 黒色泥岩地帯における地すべりの土質工学的特性一特に猿供養寺地すべりについて一 (33-43) 中村浩之
- 455 昭和47年7月4日、5日の豪雨により高知県繁藤地区に発生した地すべり性崩壊について (44-46) 栃木省二
交通工学 7-4 72-7


土木のあらゆる面で川鉄がお役に立っています

川鉄の建設用鋼材

H形鋼・鋼管・溶接棒・鋼管杭
・鋼管矢板・鋼管矢板井筒工法
・ライナープレート・H形鋼支



保工・コルゲートセル・コルゲ
ートパイプ・コルゲートフリ
ーム・鋼矢板・鋼製山留

 川崎製鐵株式會社

東京営業所 東京都千代田区有楽町1-11(新有楽町ビル)
電話・東京(03)212-4511 〒100

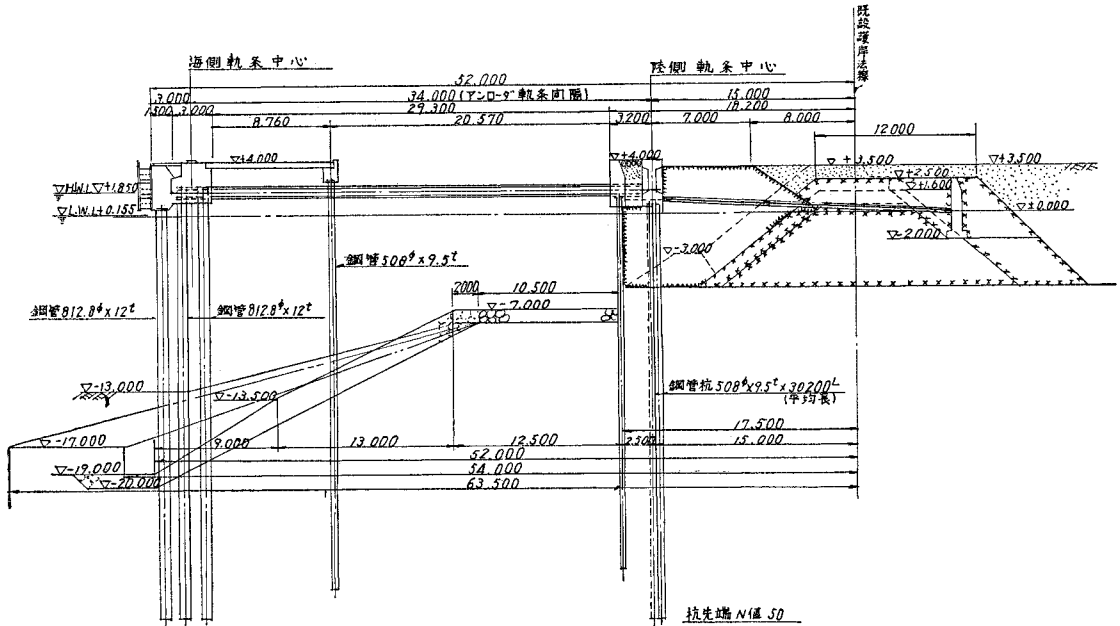
大阪営業所 大阪市北区小深町3-1(阪急ターミナルビル)
電話(案内台)大阪(06)373-6111 〒530

456 平面交差点のすべり止め舗装とその効果 (3-10) 市原 薫
457 自動車交通の抑制と歩行者道化について (11-21) 吉岡昭雄
458 高速道路における区間交通量の予測計算について (22-28) 中原繁雄
交通工学 7-5 72-9
459 交通の歴史に学ぶ (1-3) 星 塾 和
460 高速道路相互のインターチェンジにおける案内標識体系 (4-13) 中大路・七宮・河島
461 自動車走行径路調査について (14-24) 鈴木・垂沢
462 Natural Acceleration Noise の測定 (25-34) 川浦・岩崎・大野・小沢
交通工学 7-6 72-11
463 道路を原因とする事故の解析 (3-6) 市原 薫
464 都市内高架道路の視覚心理的影響 一歩行者を対象として (7-16) 井上・伊東
465 交通量需要推計における一般的均衡理論のモデル化 (17-25) 杉恵頼寧
466 交通公害 (6) 道路環境と景観 (27-41) 木倉正美
交通技術 331 72-9
467 国鉄の高架化工事について 1. 高徳本線栗林駅付近高架化 (33-37) 渡辺・高橋
468 プラズマを応用した粘着増大法 (39-43) 篠原高一郎
交通技術 332 72-10
469 超電導磁気浮上式リニアモーターカー登場 (15-23) 稲田 修
470 ニュータウンと新高速鉄道 (24-29) 奥 猛
471 長崎本線佐賀駅付近高架化 (34-37) 臼井 正
472 板橋フレートステーション建設計画 (38-40) 安藤久司
交通技術 333 72-11
473 第1回日米コンピュータ会議 (10-12) 桑折恭一郎
474 近鉄大阪線・伊賀上津一伊賀中川間複線化工事 (30-33) 三善康平
475 乗務員無線と構内無線 (34-37) 赤川 肇
476 鳥取駅付近高架化工事について (42-44) 臼井 正
477 UIC とヨーロッパの鉄道-2- (13-17) 山之内秀一郎
道 路 381 72-11
478 インターチェンジ (9-13) 広松照房
479 駅前広場の整備 (13-17) 岩井彦二
480 自動車ターミナル (17-22) 鈴木英夫
481 駐車場 (22-27) 君塚 章
482 観光レクリエーション交通需要 (47-53) 近藤・辻
483 国道 45 号線の全線開通を迎えて (58-65) 山根達郎
484 土木工事にプラスチックを (66-68) 羽田 巖
道 路 382 72-12
485 高速自動車国道の料金制度改正一ブール採算制の実施 (10-15) 鹿島尚武
486 高速道路の過積載車両通行防止対策 (16-27) 七宮 大
487 大型圧延H型钢を用いた連続高架橋 (61-65) 多田・佐藤
488 浦戸大橋主橋工事報告 (66-73) 小畑英次
489 発破併用シールドによる硬岩から軟弱層までの掘削 一真鶴道路トンネル (74-80) 田島利男
490 夜屋トンネルの工事管理 (81-84) 矢野和之
491 昭和 47 年7月豪雨による災害とその復旧の概要 (85-89) 板橋 貢
道 路 建 設 294 72-7
492 シラス地帯の道路改良切取法崩壊とその対策工法例 (72-75) 東 清昭
493 大阪府の道路交通安全対策事業 (76-80) 河村嘉三

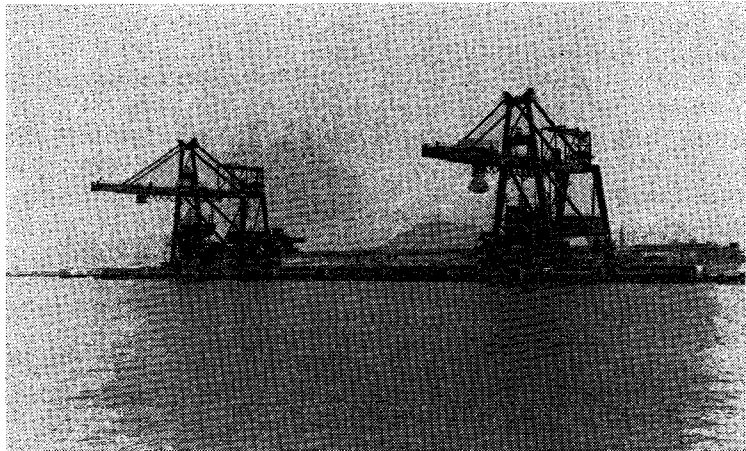
道 路 建 設 295 72-8
494 尾道バイパス舗装工事報告 (24-30) 馬場・石田
495 アスファルト合材の動的応答と疲労について (43-53) 菅原・笠原
496 粘性土路床の生石灰処理に関する検討 (54-61) 高橋一男
道 路 建 設 296 72-9
497 当面する首都の自動車交通問題 (4-8) 津田武徳
498 道路環境の整備 (9-18) 青木昌平
499 物流施設と道路 (19-29) 定井喜明
500 タンギリ神 (30-31) 藤原風治
道 路 建 設 297 72-10
501 街路の高効率化と交差点改良 (4-6) 越 正毅
道 路 建 設 298 72-11
502 道路の景観的な処理について (48-53) 鈴木正明
503 交差点における チャンネリゼーションと案内標識設置の一例 (56-62) 石井一郎
504 アスファルト表層の耐久性 [その3] 一主として外国文献を中心に (66-71) 間山正一
道 路 建 設 299 72-12
505 総合交通体系における道路の役割 一西ドイツの交通政策を見聞して (4-7) 華藤 健
506 東北縦貫道 500 号の建設 一日本道路公団 仙台建設局の近況 (40-45) 中村文男
高 速 道 路 と 自 動 車 15-7 72-7
507 世界の高速道路 I. 各国高速道路の概況 (27-34) 岩間 滋
508 II. 各国の道路政策 (35-61) 松本 洋, 外3名
509 III. 各国高速道路の技術的特性 (62-88) 松村 存, 外5名
高 速 道 路 と 自 動 車 15-8 72-8
510 トラックの大型化と国民経済 (7-10) 増井健一
511 大型車両と高速道路一道路の立場から (11-14) 伊吹山四郎
512 大型車の高速道路利用による輸送メリット (21-26) 松村英一
513 大型車の道路構造に及ぼす影響 (27-32) 近藤・柿崎・橋本
514 道路法および車両制限令の一部改正 一特殊車両の通行許可 (45-48) 加瀬正蔵
515 車両大型化による輸送上の問題点と今後の方向 (49-51) 谷尾 侃
516 特認車両の照査基準と現在の特認実態 (52-57) 村上順雄
517 連結車設計上の問題点 (58-64) 渡辺・岡本
高 速 道 路 と 自 動 車 15-9 72-9
518 安全対策論議における一つの盲点-「絶対安全」の意味は何か (7-11) 中村 貢
519 道路防災とエコロジー (12-17) 浜野一彦
520 中央高速道路の一時閉鎖に伴う社会的経済的影響 (25-28) 広松・栗城
521 山岳道路の技術的諸問題 (29-36) 武部健一
522 道路災害と道路管理者の法的責任 (37-40) 堀江忠義
523 都市生活と道路の役割 (7-10) 川越 昭
524 福祉社会への道路政策 (11-14) 井上・古木
525 生活の視点からみた高速道路 (15-19) 西谷喜太郎
526 「公共財」の理論の道路 (27-31) 岡野行秀
527 港北ニュータウンにおける道路網計画 (32-36) 川手昭二
528 高速道路バスおよびバストップ設置に関する調査研究 (54-60) 高速道路調査会 高速道路バストップ調査班
高 速 道 路 と 自 動 車 15-10 72-10
529 「公共財」の理論と道路 (27-31) 岡野行秀
530 港北ニュータウンにおける道路網計画 (32-36) 川手昭二
531 団地バス輸送の問題点とその解決方法について (37-40) 福島



三井物産コンサルタント株式会社



三井鉱山コークス工業株式会社
150000 D.W.T.バース築造工事



高速道路・一般道路・構造物(高架基礎を含む)・都市計画地域開発・隧道・鉄道・空港・河川(構物を含む)・発電計画・ダム・港湾・上下水道・造園・農業土木計画・凍上調査・音響調査・機械などの各設計及び施工監理, その他地質調査・測量に関する業務

本店: 東京都中央区日本橋本石町4-2-10(三井第2別館) TEL東京(270)5761(代表)
事務所: 営業所: 札幌・大阪・福岡・砂川・函館・苫小牧・仙台・新潟・名古屋・広島・大牟田・熊本・千葉

- 真義
- 532 高速道路バスおよびバスストップ放置に関する調査研究 (54-60) 高速道路調査会
- 533 南横浜バイパス等, 計画中の道路の景観調査 (61-64) 高速道路調査会
- 高速道路と自動車 15-11 72-11**
- 534 鉄道と道路との分業と協力関係のすすめ方 (7-10) 榊原胖夫
- 535 鉄道と道路—交通体系における位置づけ (11-15) 岡野行秀
- 536 鉄道, 道路交通のインテグレイション I. 貨物輸送 (21-25) 村尾 賢
- 537 鉄道, 道路交通のインテグレイション III. 旅客輸送 (26-29) 武石 章
- 538 鉄道, 道路交通のインテグレイション II. 通勤輸送 (30-33) 佐竹義昌
- 539 競争的供給における 外部不経済 (70-76) C.J. ゴーツ, 外 1 名
- 540 第 14 回国際道路会議交通技術委員会報告 —ヨーロッパ幹線道路幾何構造指針— (77-85) H. ホンダマック
- 高速道路と自動車 15-12 72-12**
- 541 社会的費用低減のための道路政策 (9-12) 山根 孟
- 542 道路技術の課題 —社会費用の内部化— (13-17) 細井昌晴
- 543 道路における社会費用論 (36-39) 蔵下勝行
- 544 道路投資の間接便益 —地域社会の視点から— (53-56) 武田 文夫
- 545 韓国的高速道路 (63-71) 玉田博一
トランスポート 72-10
- 546 OECD 造船部会の活動 (2-10) 神津信男
- 547 第 5 回日米運輸専門家会議 (11-19) 原田昇左右
- 548 航空機事故の技術調査 (20-25) 小西吉明
- 549 鉄道営業情報処理システムについて (30-34) 大石英夫
J R E A 15-11 72-11
- 550 私の提案/MC (Mounting Car) 方式 (1-7) 須田忠治
- 551 超高速鉄道の実験設備 (8-11) 稲田 修
- 552 東北・上越新幹線用試作電車 961 形の構想 (12-16) 久保・笠井
- 553 大都市通勤線区における 今後の列車制御についての考え方 (17-21) 原田良一
- 554 ATC 中央制御式自動運転の現車試験 (22-25) 長田喜久
- 555 オープンカウンター, その 2 (26-29) 栗山好男
- 556 群衆心理 (30-33) 三井大相
- 557 これからの貨車ヤードのあり方 (34-37) 松田忠義
- 558 L~R 形力行セクション (38-41) 権藤豊美
- 鉄道線路 20-11 72-11**
- 559 マクラギの改善対策—一部外委託研究の研究成果 (5-9) 安部・清水
- 560 中編成機械化作業を実施してみて (10-14) 牧野茂樹
- 561 線路保守保安用の機器 (15-18) 北原 勇
- 562 47.7 集中豪雨災害におもう (19-24) 松本克雄
- 563 やさしい保線講座 (10) (25-30) 三原豊明
- 564 951 形式試験電車による 速度向上試験 (上) (43-46) 佐藤・三浦
- 鉄道線路 20-12 72-12**
- 565 改造なった新幹線のレール探傷車 (5-8) 片山守彦
- 566 保線用機械の維持管理 (9-17) 小西正幸
- 567 60 kg 50 m レール輸送試験結果と今後レールの貨車積み輸送 (18-20) 新井・寛
- 鉄道土木 14-11 72-11**
- 568 神戸市高速鉄道の計画 (6-10) 古林二郎
- 569 大断面の鋼管矢板削孔圧入工法 (11-16) 北本・雨宮
- 570 東武荒川放水路橋りょうの計画と施工 (17-20) 瓜生竹男
- 571 P S アンカー工法による土留工<京成成田空港線> (21-26) 唐鎌源男
- 572 ボンツーンエレクションによるけた架設 <大井埠頭—汐留間京浜運河橋りょう> (27-29) 池谷 弘
- 573 岩石の見分け方 (上) (31-36) 池田和彦
- 574 新幹線鉄道と道路との立体交差に関する 交差計画基準 (31-43) 中村清彦
- 575 地すべり斜面の検査 (下) <根室本線 門静—厚岸間> (41-43) 吉川 浩
- 576 停車場 (上) (45-48) 吉江一雄
- 鉄道土木 14-12 72-12**
- 577 東北新幹線トンネルの計画 (6-10) 大脇康孝
- 578 燃焼実験による火災時の地中温度の変化 (11-15) 小倉正己
- 579 振動障害調査法 (17-21) 小林芳正
- 580 スノーフリータイプ開床式橋りょう (23-27) 寺本清典
- 581 物資別基地の施工<宇都宮貨物ターミナル> (29-32)
- 582 貨物設備アスファルト舗装 (33-37) 大月輝雄
トンネルと地下 3-11 72-11
- 583 湧水を伴った膨張性泥岩の施工—北越北線・赤倉トンネル— (3-10) 大島・水出・石山
- 584 都心の道路トンネル —八重洲トンネルの施工— (11-19) 青木・佐野・有馬
- 585 部分圧気推進工法による下水道建設 —第二京浜国道横断工事— (57-60) 佐藤一夫
- 586 名古屋市地下鉄 4 号線の施工について (21-26) 近藤 茂
- 587 岩石の熱破砕 (1) —高温度下の岩石の諸特性— (27-32) 厨川道雄
- 588 ロックボルト工とその問題点 (1) (43-49) 伊藤福夫
- 589 山陽新幹線トンネル会議の内容 (50-56) 天野礼二
トンネルと地下 3-12 72-12
- 590 新橋地下駅の計画と施工 (22-32) 重田・渡辺・平山
- 591 ビックジョンによる市街地下の掘さく —北九州トンネルの施工— (39-45) 吉川恵也
- 592 酸欠問題とその対策 (3-7) 中西吉造
- 593 関門トンネルの施設とその維持 (8-12) 渡辺幸太郎
- 594 岩石の熱破砕 (2) —ジェットピアミング— (16-21) 厨川道雄
- 595 ロックボルト工とその問題点 (2) (46-53) 伊藤福夫
- 新都市 26 72-8**
- 596 昭和 48 年度の建設省の重点施策について (9-13) 三木克彦
- 597 首都圏における事務所対策の概要 —首都圏整備審議会第二次答申について— (14-17) 小林 満
- 598 「都市計画による駅前広場の造成についての建設省・日本国有鉄道申合せ」について (18-20) 西 建吾
- 599 新用途地域決定の現況と問題点 (21-30) 養原・遠藤
新都市 26 72-9
- 600 市街地再開発事業の隘路とその打開策 (2-6) 山田 寛
- 601 小樽市の小樽駅前地区市街地再開発事業 (7-14) 辻井幸雄
- 602 東京都西大久保地区の再開発事業 (15-20, 47) 武田・柳下
- 603 東京都原町田地区市街地再開発事業 (21-25) 町田市市街地再開発事務所
- 604 枚方市駅前地区市街地再開発の事業の概要 (26-31) 大北 博
- 605 国鉄高槻駅前市街地再開発事業 (32-41) 沢田秀夫
- 606 尼ヶ崎市における市街地再開発事業 (42-47) 木島久治郎

高性能、高信頼性に加え、使い易さを徹底的に追求しました——

IRIG規格7チャンネルデータレコーダ

データレコーダのトップメーカー、ティアックは、ポータブルタイプから解析用まで、7チャンネルデータレコーダシリーズを完成しました。(7データ+1音声)

ポータブルタイプR-250SERIESは小型軽量の特徴を生かし、車載用として優れた耐振性(MIL規格810B-514-YおよびE-5272C-Ⅱ)をもち、苛酷な条件のもとでも常に安定した性能が得られるほか、チェック、メインテナンスの簡素化をはかり、現場における準備のわずらわしさを一掃しました。

可搬型R-510はR-250SERIESとテープの互換性があり、解析用として可能なかぎりの多種機能をもたせ、その豊富なアクセサリと共に研究室でのデータ処理にもっとも適しています。

新シリーズはティアック独自の特殊加工スリットディスクサーボコントロールにより性能は1段とアップ。

さらに、AC、DCキャリブレーション回路の内蔵。大型モニタメータ、モニタアウトとチャンネルセレクトスイッチによる入出力レベルのチェック機能、記録ON-OFFスイッチによるアフターレコーディング機能に加え、エンドレスユニット、モニタスピーカ、リモートコントロール、AC-DC電源などのアクセサリが揃い、使い易さにも充分な配慮がなされています。

また、ティアックデータ集録装置DPシリーズを加えることにより、データ処理の自動化、省力化をはかることができます。

■ポータブルデータレコーダR-250SERIES

チャンネル数 IRIG規格7データ+1音声
テープ速度 R-250 38, 19, 9.5cm/sec
R-251 19, 9.5, 4.75cm/sec
R-252 76, 38, 19cm/sec
周波数特性 R-250 DC~5kHz 50dB
R-251 DC~2.5kHz 50dB
R-252 DC~10kHz 50dB
入力 ±1~20Vp
出力 ±1~5Vp, ±20mA
電源 DC11~15V, 8A

■ポータブルデータレコーダ(記録専用機)R-255

チャンネル数 IRIG規格7データ+1音声
テープ速度 76, 38, 19, 9.5, 4.75cm/sec
周波数特性 DC~10kHz
50dB (R-250SERIESで再生)
入力 ±1~20Vp
電源 DC11~15V, 7A

■可搬型解析用データレコーダR-510

チャンネル数 IRIG規格7データ+1音声
テープ速度 152, 76, 38, 19, 9.5, 4.75cm/sec
周波数特性 DC~20kHz
入力 ±0.1~20Vp
出力 ±5Vp, ±10mA
電源 AC100, 115, 220V



●詳しい資料は営業本部情報機器2課、または各地方営業所にご請求ください。

TEAC®

ティアック株式会社

営業本部 160・東京都新宿区西新宿1-8-1
新宿ビル・電話 東京(03)343-5151(代)

名古屋営業所 TEL(052)261-9251 / 大阪営業所 TEL(06)649-0191
広島営業所 TEL(0822)43-3581 / 福岡営業所 TEL(092)43-5781
仙台営業所 TEL(0222)27-1501 / 札幌営業所 TEL(011)521-4560

- 607 久留米市西鉄久留米駅東口地区における再開発 (48-52) 西村 保英
新都市 26 72-10
- 608 地方分散の方式 (2-3) 飯沼一省
- 609 人間尊重の都市づくり (4-5) 立木 勝
- 610 都市計画全国大会と国際観光都市別府について (6-6) 荒金啓治
- 611 大分市都市計画について思うこと (7-9) 上田 保
- 612 大分県における都市計画 (10-17) 工藤正三
- 613 大分新産業都市建設計画と周防灘総合開発計画 (18-25) 栗林 里
- 614 大分県の港湾 (26-31) 大関高城
- 615 新産業都市の背後地整備計画 (32-36) 高田知男
- 616 大分市の都市計画 (31-46) 佐藤省三
- 617 別府国際観光温泉文化都市の計画について (47-56) 中野・笠井
- 618 新産業都市建設と公害対策 (61-66) 田口恵一
- 619 日豊本線の中津駅鉄道高架事業 (67-74) 村上秀明
- 620 明野, 敷戸, 新住宅団地計画 (75-88) 千葉勝次
- 621 ユニークな B.R.G. 空間の創造 (89-95) 大塚 寛
- 622 大分市松原緩衝緑地の建設 (96-97) 辛島力夫
- 623 新大分空港建設事業 (98-102) 友田享史
- 624 別大国道の交通緩和について (103-108) 永井三郎
- 625 大分県の宅地開発の実状 (109-113) 平野幹夫
- 626 大分県の郷土芸能と名所旧跡 (114-122) 渡辺順四郎
都市問題 63-7 72-7
- 627 市町村の長期計画策定の意義 (3-14) 中沢誠一郎
- 628 地方自治体の長期総合計画について (15-27) 石田頼房
- 629 長期計画策定の手順 (28-40) 栗原 勝
- 630 中期計画策定の手順 (41-54) 野村銀市
- 631 都市計画における長期計画策定の本質 (68-86) 後藤幸夫
都市問題 63-8 72-8
- 632 都市政策の推移と地方都市の対応 (3-13) 吉富重夫
- 633 地方都市発展の条件 (14-26) 近江哲男
- 634 最近における地方都市人口の変動 — 地方拠点・中核都市を中心に — (27-37)
- 635 個性と人間味ある町に — 新しい地方都市像を探る — (38-47) 溝部忠増
- 636 都市の経済社会学説史 (下) 一試論 (48-58) 倉辻平治
- 637 人間環境としての都市 (上) 都市研究の方法論について (59-69) 天野博正
- 638 都市交通の在り方 (I) — 市電の問題 — (70-81) 中村・安原
区画整理 7201 72-1
- 639 土地区画整理事業の展望 (5-12) 溜水義久
- 640 土地区画整理組合事業の進め方 (7) (27-36) 土地区画整理事業研究会
- 641 名瀬市における街づくりと土地区画整理事業 (37-42) 名瀬市都市計画課
区画整理 7202 72-2
- 642 転換期の都市計画 (2-14) 大塩洋一郎
- 643 土地区画整理組合事業の進め方 (8) (23-29) 土地区画整理事業研究会
区画整理 7203 72-3
- 644 土地区画整理事業の展望 (つづき) (2-8) 溜水義久
- 645 小都市の区画整理事業取り入れの問題点 (所感) (27-28, 48) 奥村文男
- 646 伊丹市荻野土地区画整理事業における仮換地, 画地設計のコンピューター処理 (29-48) 新田・宇津・高橋・西川
区画整理 7204 72-4
- 647 権利等の混同と換地計画の作成 (2-7) 早田末吉
- 648 土地区画整理組合事業の進め方 (9) (8-18) 土地区画整理事業研究会
区画整理 7205 72-5
- 649 よみがえる足利の中心街 (座談会) (2-36)
区画整理 7206 72-6
- 650 沖縄における土地区画整理事業の現況と将来 (7-44)
区画整理 7207 72-7
- 651 土地区画整理組合事業の進め方 (22-32) 土地区画整理事業研究会
区画整理 7208 72-8
- 652 土地区画整理組合事業の進め方 (11) (12-20) 土地区画整理事業研究会
- 653 焼津駅前広場の物語 (35-36) 松永一雄
- 654 都市計画事業と商店街近代化事業の体験 (37-38) 戸塚達也
都市計画 72 72-9
- 655 計画行政における市民参加 (6-16) 田村 明
- 656 都市計画における住民参加 — 草の根プランニングと地域自治 — (17-26) 三村浩史
- 657 都市計画における住民意識研究 — 住民意識研究の視点と既往研究の紹介 — (27-31) 川瀬光一
- 658 計画過程における住民意識の役割と限界 (32-39) 梶 秀樹
- 659 防災計画における住民と計画者の役割 (40-49) 村上・平井
- 660 環境維持と住民運動 (50-56) 池田禎男
都市計画 73 72-11
- 661 都市計画における密度研究 (8-10) 日端康夫
- 662 群集と密度 (17-19) 戸川喜久二
- 663 東京の木賃アパートと住宅地密度 (20-31) 三宅 醇
- 664 建築と密度 (32-42) 深海隆恒
- 665 地域地区制と密度 (43-52) 田中康夫

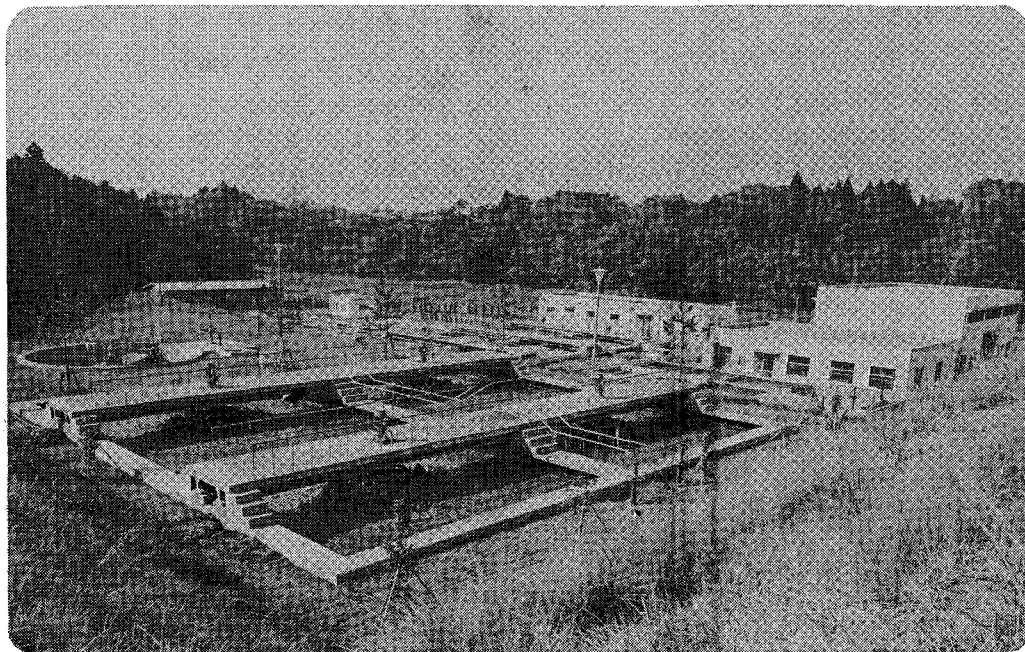
土木技術者のための法律講座 ● 第2版・48年2月末出版 ●

B5・126 ページ 8ポニ段組並製 1100円 会員特価 1000円 (〒100円)

●総論●財政・会計制度●建設業法●標準契約約款●公害対策基本法●騒音規制法●水質汚濁防止法●大気汚染防止法●労働基準法および関係法令●市街地土木工事公衆災害防止対策要項および火薬類取締法●道路交通関係法令●河川・砂防・海岸・公有水面行政法規●港湾関係法令●都市計画法●水道法●下水道法●建築基準法●宅地造成等規制法●土地収用法 (第2版で追加) ●

●水の公害問題・住みよい環境づくりに貢献する!!

神鋼ファウドラの都市・団地下水処理プラント



▲団地下水処理プラント28,000人分処理

神鋼ファウドラは、ヨーコーン式表面ばっ気機を主体とし、多くの実績を挙げております。

ヨーコーン式表面ばっ気機の特長

- (1) 酸素供給能力、散気方式と2倍、撹拌能力が3倍以上
- (2) 動力費(維持費)が30~40%安い
- (3) 維持管理が容易
- (4) BOD除去率が大で、高汚泥濃度(8,000~9,000ppm)でも十分な撹拌、混合が可能など、その他に多くの特長をもっています。弊社はこの優れた装置を応用して、標準活性汚泥法はもとより、全酸化方式などの活性汚泥法による下水処理装置の設計、製作、施工をしております。

水処理の総合プラントメーカー



神鋼ファウドラ

本社・工場／神戸市葺合区脇浜町1丁目4番78号 TEL 神戸 078(251)5500
東京支社／東京都中央区八重洲4丁目3 TEL 東京 03(272)1511
営業所／大阪・名古屋・北九州・札幌

●詳しくはカタログをご請求ください。

動いている機械的物体に起こる物理的現象を 動的状態のまま遠方から測定！

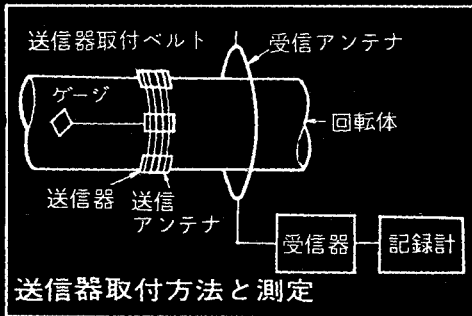
特 徴

- ワイヤレスにより、回転、移動中の現象が簡単にはかれます。
- 電波使用等の許可がいらず、どこでも使えます。
- FM電波は、安定度がよく、雑音、混信がほとんどありません。また、アンテナなどが動いても、測定の変動が非常に少なくなっています。
- 出力は、受信器のメーターにもでます。しかも、電磁オシロ、ペン書オシロ等の記録計にそのまま接続できます。
- 火花、磁力線等の外来ノイズにも、影響が殆どありません。
- 振動、衝撃、遠心力に対してもノイズ変動が非常に少なくなっています。

プリモ FM 遠隔測定装置

動いている機械的物体に起こるひずみ、
風圧、温度、振動、圧力、加速度などを、
電気的に変換してFM電波によって離れた
まま測定する装置です。

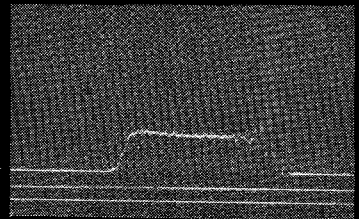
Primo



プリモでは、このほか、動く物体の測定器を各種製作しております。

営業品目

- FM容量偏位振動計 ● 回転等による振動を振動体にさ
わらずに測定する
- 熱遠隔測定器 ● PbSセルに、物体の輻射エネルギーを
感応させて温度を測定する
- 熱源発見器 ● 加熱部分を発見する
- PbS半導体セル ● 赤外線に感応する



株式会社

Primo

本社・工場 東京都三鷹市牟礼6-25-1 Tel.(0422)-43-3121(代)
東京営業所 東京都千代田区神田佐久間町1-14 Tel.(251)0431~3
大阪出張所 大阪市都島区高倉町1-7-16 Tel.(921)6031(代)~6032

実績と技術を誇る特殊電機……！

トクデン タンパー Y-80型

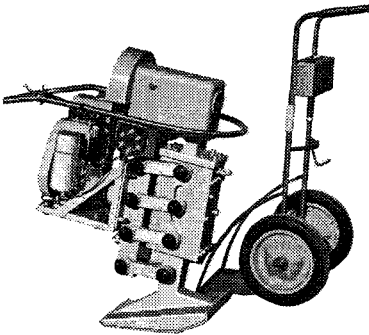
本邦唯一、
ゴム共振採用

特殊衝撃方式の為故障少なく耐久力が大である。

- 突固め能力が強力である
- 前進登坂力が強力である
- 注油の必要がない

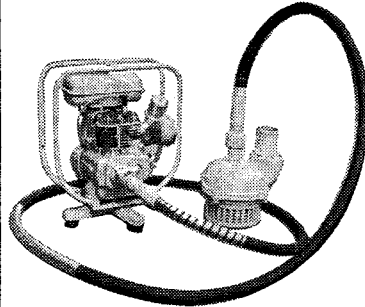
■用途

路床・路盤・アスコン等の輪圧埋設工事後の輾圧 法面・法肩路肩等法面の輾圧 盛土・栗石の突固めその他狭隘場所の輾圧締固め



トクデン ポンプ

軽便高性能



原動機はエンジンでも、モーターでもO-K

特長

- 原動機はエンジン、モーターいずれも使用出来る。
- 小型軽便で持運びは一人で出来る
- 取扱操作は極めて容易。
- 呼び水等は一切不要。
- 故障少なく耐久度大。
- 土砂混入のよれ水でも容易に大量揚水出来る。
- 原動機は一切の部品、工具を使わないでパイプレーターに完全兼用出来る。

吐出口径 2吋 3吋
揚程 (最大)

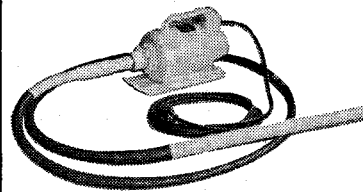
22m 14m

揚水量 (最大)

480ℓ/min

1100ℓ/min

トクデン パイプレーター



営業品目

コンクリート・ロード・フィニッシャー 各種コンクリートパイプレーター
(エンジン式・空気式・電気式)
フィニッシングスクリッド・振動モーター・その他振動機械



特殊電機工業株式会社

本社	〒161 東京都新宿区中落合3丁目6番9号	電話東京	03(951)0161~5
浦和工場	〒336 浦和市大字田島字樫沼2025番地	電話浦和	0488(62)5321~3
大阪出張所	〒550 大阪市西区九条南通3丁目29番地	電話大阪	06(581)2576
九州出張所	〒816 福岡市南局区内青木真砂町793番地	電話福岡	092(41)1324
名古屋出張所	〒457 名古屋市南区汐田町3丁目21番地	電話名古屋	052(822)4066
仙台出張所	〒983 仙台市大行院丁1番地	電話仙台	022(57)3860
北海道駐在	〒060 札幌市北一条東8丁目1番地	電話札幌	011(241)8101

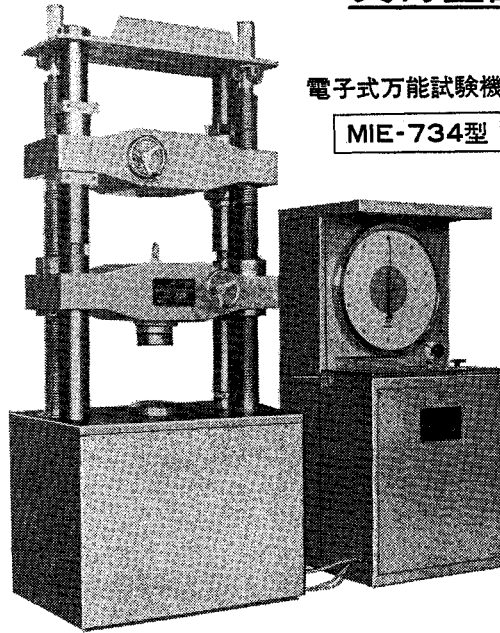


MARUI
創業50年

電気・油圧サーボシステム・自記計測のマルチ **1UP&UP**

新しい万能材料試験機

電子式
実荷重計測式



電子式万能試験機

MIE-734型

計測機構と負荷機構の分離

直接計測して、従来の間接的計測の不可抗力的要素を省きました。

- ※ 負荷荷重の検出は特殊型ロードセル
- ※ 温度変化除く特殊電気回路
- ※ 特殊ロードセルは引張強度の1/2以下で使用
- ※ 荷重負荷は多連式ポンプにて行う
- ※ 計測指示は自動平衡装置利用

電子式?

特殊ロードセル方式のための
完全な電子式機構

特殊ロードセルは、D・T・Fを利用精度0.1μ
指針の動きはタコゼネレーターによる自動平
衡方式。このように計測はすべて電子回路を
駆使しています

実荷重計測

多くの利点を
生みだします。

- ① 正確な計測
- ② 故障発生減少
- ③ 操作簡単
- ④ 感度上昇
- ⑤ 再現性いちじるしい
- ⑥ 負荷中レンジ切換えできる
- ⑦ 「0」調容易になった
- ⑧ 応答性早く0.5秒以内
- ⑨ 破断ショック影響受けない
- ⑩ 自記自動化が容易になった

油圧系統は負荷するだけ
計測値は関係ありません

※詳細ご一報下さい。
すぐ参上します。

——自記自動化のトップをめざす——

——信頼を旨とす——

株式会社 **丸井製作所**

営業品目

土質試験機	非破壊試験機
アスファルト試験機	温調試験機
コンクリート試験機	水理試験装置
セメント試験機	材料試験機

MARUI

株式会社

マルイ

東京営業所 〒105	東京都港区芝公園2-9-12	TEL 東京 (03) 434-4717(代)
大阪営業所 〒536	大阪市城東区蒲生町4-15	テレックス東京 242-2670
九州営業所 〒812	福岡市博多区比恵町1-6	TEL 大阪 (06) 931-3541(代)
		テレックス大阪 529-5771
		TEL 福岡 (092) 41-0950

山陽国策パルプのコンクリートの減水剤

サンフロー

■純国産技術により製造

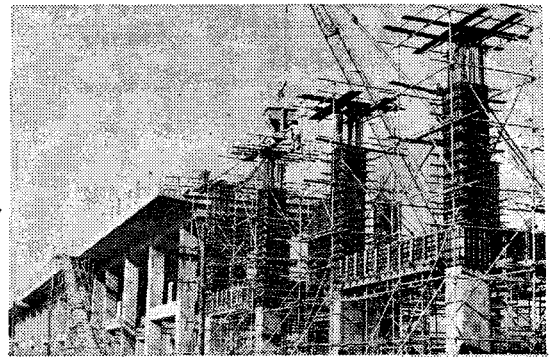
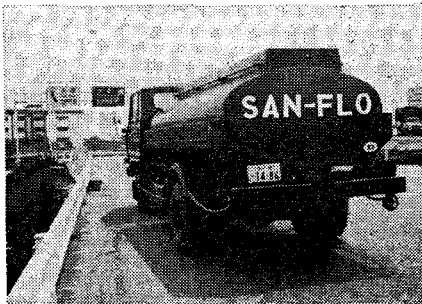
■品質優良

■価格低廉

S —— 標準型 SS —— 特殊遅延型

R —— 遅延型 H —— 特殊早強型

A —— 早強型



※ご一報次第カタログ進呈致します。

■製造元

山陽国策パルプ

東京都千代田区丸の内1-4-5 TEL 03-211-3411 (代)

■発売元

サンフロー株式会社

本社 東京都渋谷区渋谷1-7-8 (山陽国策パルプ渋谷ビル)

TEL 03-407-0121 内線353

大阪営業所 大阪市東区高麗橋5-4-5 (興銀ビル別館)

TEL 06-203-7635

名古屋営業所 名古屋市西区大船町1-1-3

TEL 052-571-7505

岩国営業所 岩国市今津町1-1-8-1 (岩国商工会議所ビル)

TEL 0827-21-6001

岡山営業所 岡山市新屋敷3-3-1-4

TEL 0862-41-4180

福岡営業所 福岡市博多駅中央街8番36号 (博多ビル) 三洋商事内

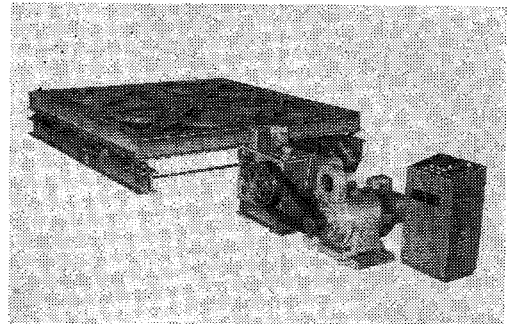
TEL 092-41-9071

低速振動試験機

C-3000型

構造物・土槽・燃料タンクなどの耐震実験に用いる大型振動試験機

- 振動盤の大きさは3m×3mあり最大5トンの品物まで試験することができます。また、構造型鋼の全溶接構造になっていますから、軽量でしかも剛性が高い。
- クランク加振方式を用いているので、最大全振幅200mmまでの試験をすることができます。
- 変速レバーによって振動数は2段切替にできますから、6～600cpmの広範囲にわたる試験ができます。
- 振動数・振幅ともに押ボタン操作により運転中にも連続的に変更することができます。



＝その他の製品＝

松平式振動試験機、振動衝撃試験機、衝撃試験機、加速度試験機、ゴム疲労試験機、人間工学用人体模型、酸素呼吸器、ダイヤフラム

本社 東京都千代田区神田神保町1-6-3
電話 東京 (294) 2881 (代表)

伊藤精機株式会社

ダム基礎岩盤グラウチング施工実例集

予約頒布のご案内

土木学会岩盤力学委員会ではさきに制定した「ダム基礎岩盤グラウチングの施工指針」(A5判 80 ページ・定価 900 円・会員特価 800 円・送料 90 円)に引きつづき「ダム基礎グラウチング施工実例集」の編集をすすめております。本書は、わが国の代表的ダム 57 をとりあげ、それらのダムを重力ダム、中空重力ダム、アーチダム、ロックファイルダムに大分類し、Ⅰ. 諸元、Ⅱ. 地質、Ⅲ. コンソリデーショングラウチング、Ⅳ. カーテングラウチングの各項目に分けて図表を豊富に用いてとりまとめたものであり、ダム基礎グラウチングの計画、施工にあたり、関係技術者の参考資料として活用いただけるものと確信し、広くご利用下さるようご案内いたします。

なお、本書は予約限定出版と致しますので予約いただけないと購入が困難となりますので下記申込書によりお申込み下さいませようご案内致します。本書でとりあげたダムは下記の 57 です。

【重力ダム】

田子倉(電源開発)	下久保(水資公)	早明浦(水資公)	石手川(建設省)	江川(水資公)
緑川(建設省)	菌原(建設省)	菅沢(建設省)	素波里(秋田県)	永源寺(農林省)
静内(北海道電力)	祝子(宮崎県)	岩尾内(建設省)	生野(兵庫県)	新猪谷(北陸電力)
油木(福岡県)	神浦(長崎県)	四十四田(建設省)	旭川(秋田県)	仏原(北陸電力)
下新冠(北海道電力)	釜房(建設省)	花貫(茨城県)	田原(中国電力)	永楽(大阪府)
和田川(富山県)				

【中空重力ダム】

畑薙第一(中部電力)	井川(中部電力)	高根第二(中部電力)	蔵王(山形県)	穴内川(四国電力)
------------	----------	------------	---------	-----------

【アーチダム】

黒部第四(関西電力)	奈川渡(東京電力)	高根第一(中部電力)	矢木沢(水資公)	一ツ瀬(九州電力)
川俣(建設省)	上椎葉(九州電力)	小渋(建設省)	新成羽川(中国電力)	豊平峡(北海道開発庁)
矢作(建設省)	水殿(東京電力)	裾花(長野県)	青蓮寺(水資公)	雨畑(日軽金)
高山(水資公)	小見野々(四国電力)	奥新冠(北海道電力)	稲核(東京電力)	

【ロックファイルダム】

九頭竜(電源開発)	水窪(電源開発)	牧尾(水資公)	喜撰山(関西電力)	石湊(建設省)
大津岐(電源開発)	日出生(農林省)			

体 裁：A4判 300 ページ予定
 予定価格：13,000 円(送料実費)

申込期限：昭和 48 年 4 月 10 日
 配本期日：昭和 48 年 5 月末日

..... (切取り線)

予 約 申 込 書

No. _____

〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目

土木学会刊行物頒布係 御中

電話 351—4132 (直通) 郵便振替東京 16828 番

連絡先
 (住所)
 申込者氏名

書 名	予約部数
ダム基礎岩盤グラウチング施工実例集	冊

上記のとおり予約申込みを致します。

昭和 48 年 月 日

注：上記申込書により 4 月 10 日までに予約して下さい。予約された方には改めて送金方法等についてはご連絡いたします。

購入方法についてご希望がありましたら下記へご記入下さい。

希望意見： _____

昭和 48 年 月 日 学会受付

ダム基礎岩盤グラウチング の施工指針

土木学会岩盤力学委員会編集

● A5・80ページ・図版多数・上製 定価 900円 会員特価 800円(〒90) ●

〈岡本舜三委員長序文より〉 近年地質条件の必ずしも良好でない場所にもダムの建設が要求され、そのために基礎岩盤の安全性が設計上問題となる場合が多くなってきた。その場合にはダム基礎処理工の適切な設計と確実な施工の重要性がはなはだ大きくなるが、適確な設計施工が普ねく行なわれるためには現場技術者のための適当な指針が望まれる。

土木学会岩盤力学委員会第1分科会では昭和43年以来、基礎処理工のうち大きな部分を占めるグラウチング技術面について設計施工上の事項を調査検討してきたが、最近これを「ダム基礎岩盤グラウチングの施工指針」としてとりまとめた。そこにはグラウチングの目的、グラウチング計画のための調査、グラウチングの施工、コンソリデーショングラウチング、カーテングラウチングの5項目について述べられているが、ダム基礎岩盤のグラウチングについては従来から種々の考え方があり統一されていないのが現状であるから、種々の考え方のあるものについてはできるだけこれを併記することとした。

この指針で取り扱ったのは、基本かつ一般的な事項について述べてあるから指針に対する具体的な肉付けを各現場での作業を通じて行ない、その現場に適したグラウチング方法を生み出してほしい。その際、実際の施工ではグラウチング工事に従事する第一線技術者の判断とグラウチング作業を行なう機械運転技術者の技能が重要であることを忘れてはならない。

本指針に対する読者諸氏からの御注言や御助言は最も歓迎するところであってそれらの御助言によって指針の内容がよりよきものへと改められてゆくことを望んでいる。〈以下略〉

1. グ라우チングの目的

2. グ라우チング計画のための調査 2.1 地質調査 2.2 ルジオンテスト 2.3 グ라우チングテスト

3. グ라우チングの施工 3.1 ボーリング 3.1.1 ボーリング機械・器具 ① ボーリング機械 ②

ビット ③ コアバレル 3.1.2 孔径の決定 3.1.3 ボーリング 3.2 注入材料 3.3 グ라우チング

3.3.1 注入機械器具 ① グラウトミキサーおよびアジテーター ② グラウトポンプと配管 ③ 注入用

バッカー ④ 計器 3.3.2 混合プラント 3.3.3 水洗いおよび水押し ① 水洗い ② 水押し 3.3.4

注入 ① 施工方法 ② 注入方法 3.3.5 注入に大きな影響をおよぼす要素 ① 注入圧力 ② グラウト

の配合 ③ 注入ステージ長 3.4 追加グラウチング 3.5 ケミカルグラウチング 3.5.1 ケミカル

グラウト 3.5.2 ケミカルグラウチングの計画 3.5.3 薬液注入機械 3.5.4 注入方法

4. コンソリデーショングラウチング 4.1 ダム基礎の変形 4.2 施工範囲 4.3 施工時期 4.4

孔の配置、深さおよび方向 4.5 せん孔、水洗いおよび水押し 4.6 注入圧力 4.7 配合と注入 4.8

注入効果の判定

5. カーテングラウチング 5.1 ダム基礎の浸透流 5.2 施工位置 5.3 施工範囲 5.4 注入孔の

配置 5.5 注入圧力 5.6 配合と注入 5.7 施工順序 5.8 注入効果の判定

土木技術者のための岩盤力学

● 第3刷発売中 B5・490ページ 定価 3600円 会員特価 3250円(〒200) ●